



2021年度第1四半期決算の概要

(2021年4月1日～2021年6月30日)

ご説明資料

2021年7月30日



 **山陽特殊製鋼株式会社**



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

1. 2021FY1Q決算の概況

損益の概要、Ovakoの決算期変更について

業績推移(四半期)

経常利益の変化要因(2020FY1Q→2021FY1Q、2020FY4Q→2021FY1Q)

セグメント別損益

貸借対照表、設備投資・減価償却費の推移、D/Eの推移

2. 業績予想等

2021FY業績予想の修正について

経常利益の変化要因(2021FY前回予想→2021FY今回予想、2021FY上期今回予想→2021FY下期今回予想)

Ovako業績、MSSS業績

業績推移(年度)、2021FY配当予想の修正について

3. 2050年カーボンニュートラル(CN)実現に向けた取り組み

当社の状況とカーボンニュートラルに向けた考え方、2050年に向けたロードマップ

エコプロダクトによるCO₂排出量削減への貢献、欧州子会社Ovakoの取り組み

(参考) 各国の電源構成と産業用電力価格

4. トピックス

5. 参考資料

新型コロナウイルス感染症への対応

自動車市場、産業機械・建設機械市場、特殊鋼需要の動向、軸受在庫循環図、原燃料価格の推移

損益の詳細

1. 2021FY1Q決算の概況

損益の概要 (対2020FY1Q)

1. 2021FY1Q業績概要

連結経常利益85億円(前年同期比+102億円) … 四半期では過去最高益

- ・売上数量の増加、収益改善努力等により前年同期比増益。
- ・当社単独、Ovako、MSSSとも、経常利益はそれぞれ黒字を確保。

[Ovakoおよびのれん償却費は、2021年度からの決算期変更に伴い、6ヵ月間(2021年1~6月)の数値を記載]

(参考) 2021FY1Qの売上数量…Ovakoは2021/1~6月期の売上数量(1~3月は決算期変更影響)、MSSSは2021/1~3月期の売上数量

	2021FY1Q(A)		2020FY1Q(B)		増減(A)-(B)		
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率	
売上数量(千t)	672	162.2 /月	335	111.6 /月	+337	+50.7 /月	
内、当社単独	267	89.1 /月	137	45.8 /月	+130	+43.3 /月	
内、Ovako	1-3月 178 4-6月 192	370	61.6 /月	173	57.6 /月	+197	+4.1 /月
内、MSSS	35	11.5 /月	25	8.3 /月	+10	+3.3 /月	

2. 損益計算書 (対2020FY1Q)

(単位:億円、%)

	2021FY1Q(A)		2020FY1Q(B)		対前年同期(A)-(B)		
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	金額	増減率	
売上高	1,106	100.0	530	100.0	+576	+108.5	
営業利益	85	7.7	▲12	-2.2	+96	-	
経常利益	85	ROS 7.7	▲18	ROS -3.3	+102	-	
内、当社単独	36	8.8	▲8	-3.8	+44	-	
内、Ovako(注1)	1-3月 25 4-6月 36	61	9.5	5	1.9	+56	+1,113.5
内、MSSS(注2)	1	3.4	▲3	-9.9	+4	-	
内、のれん償却費	1-3月 ▲7 4-6月 ▲7	▲13	-	▲6	-	-7	-
税後利益(注3)	61	5.5	▲15	-2.8	+75	-	
のれん償却費を除く税後利益	74	6.7	▲8	-1.6	+83	-	

(注1) Ovakoは、2021年1~6月期を連結 (注2) MSSSは、2021年1~3月期を連結 (注3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

Ovakoの決算期変更について


(1) 変更内容

2021年度より、Ovakoの決算期を12月から当社単独と同じ3月へ変更。
移行期となる2021年度は、2021年1月～2022年3月の15か月決算を実施。

(2) 当社連結決算への影響

当社連結決算上、Ovakoの2021年1～3月損益が、「**Ovakoの決算期変更影響**」となる。
連結経常利益への影響は、**+18億円**(Ovako経常利益 25億円、のれん償却費 -7億円)。

2020年度				2021年度				
2020年1-12月				2021年1月-2022年3月				
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
20/1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	21/1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	22/1-3月



決算期変更影響

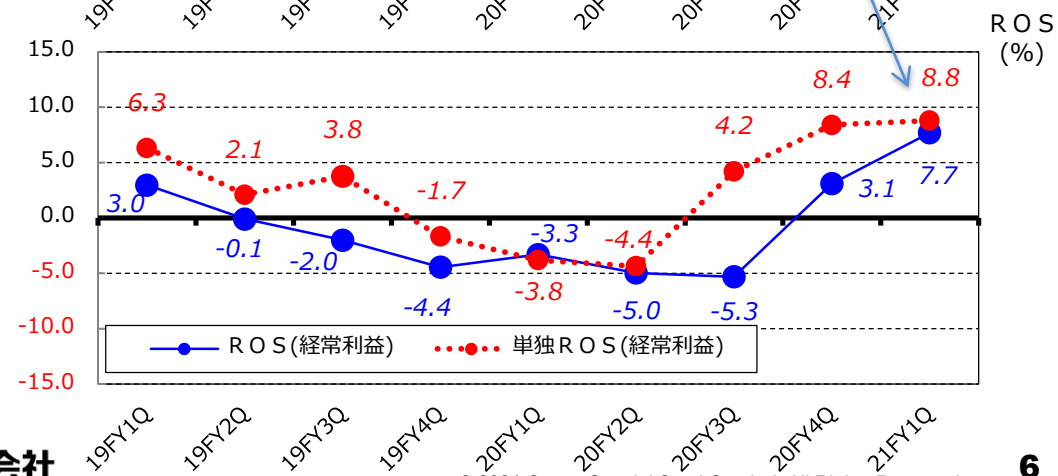
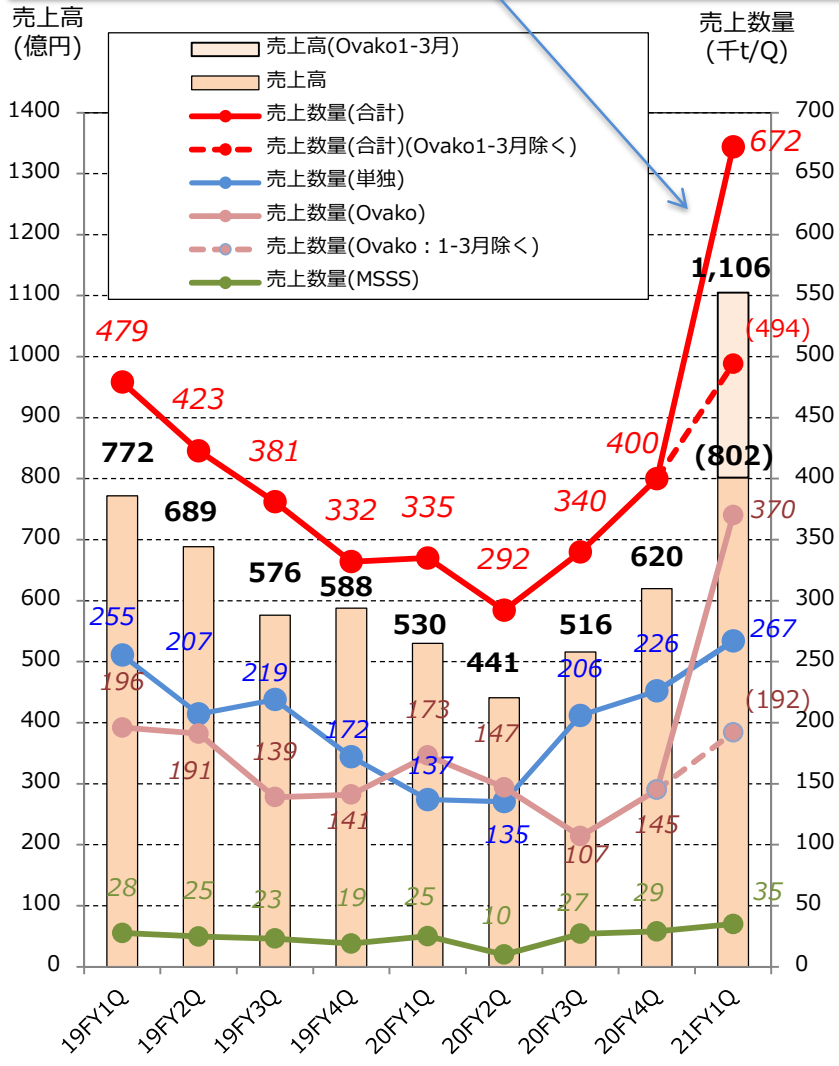
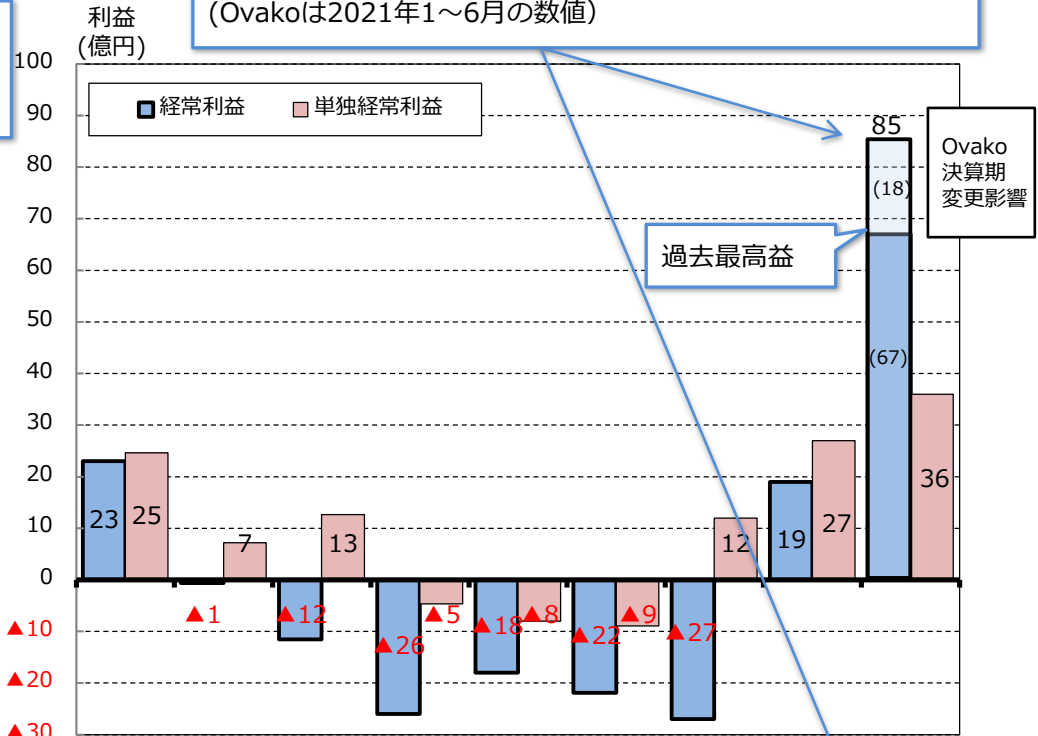
(3) 変更の理由

Ovakoは、他の海外子会社と同様、3か月遅れで連結決算に取り込んでいた。同社は当社単独の次に大規模な子会社(売上高は当社単独の約8割)であり、連結業績に占める割合が高い。同社の決算期を当社単独と統一することにより、適時・適切な業績開示とグループ経営管理を実施する。

業績推移(四半期)

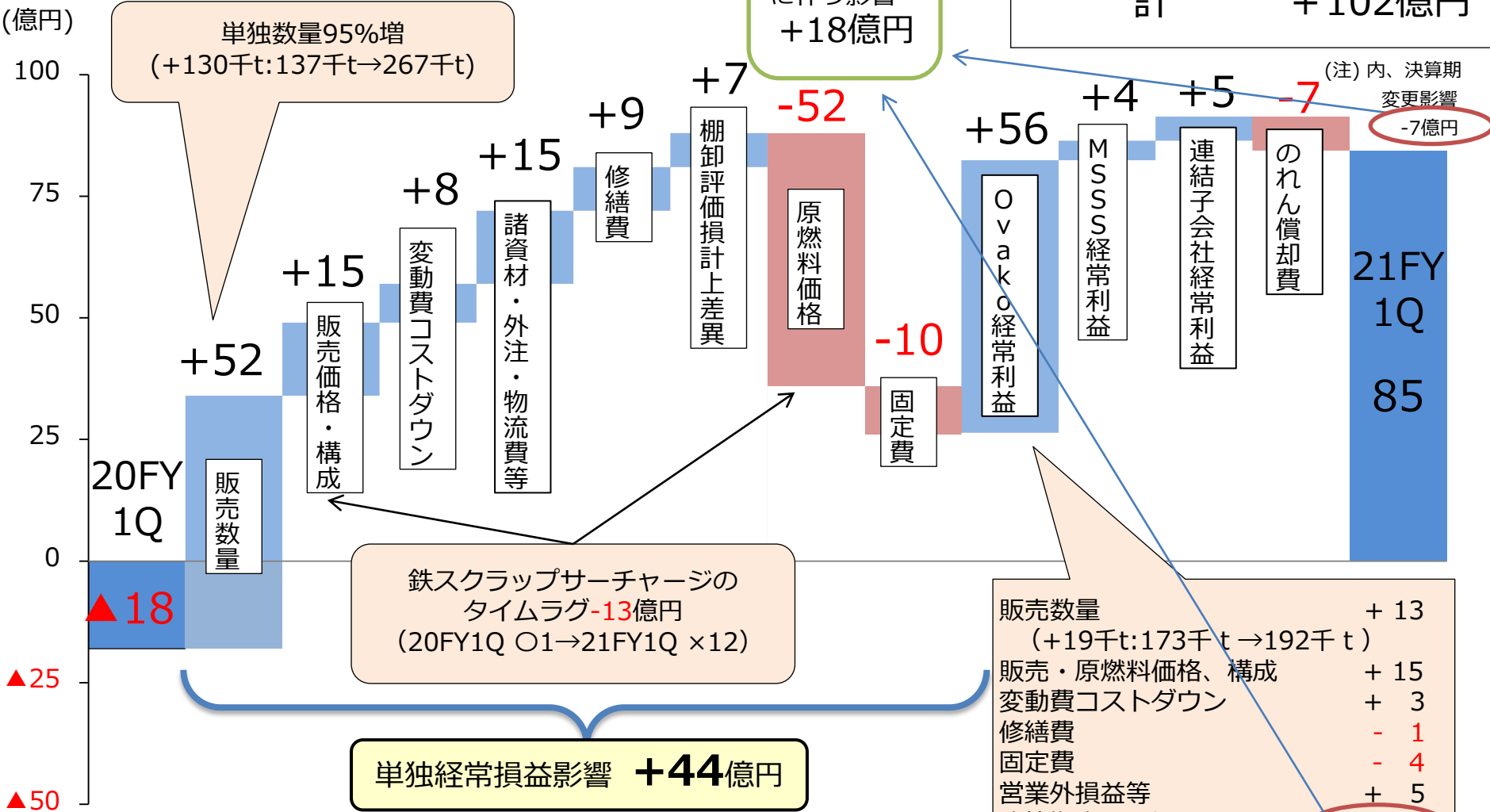
主に当社単独、Ovakoの売上数量回復に伴い利益が増加。
(Ovakoは2021年1~6月の数値)

当社単独：21FY1Qは需要回復により数量回復。
Ovako：21FY1Q(1-6月)は需要回復および決算期変更により数量が増加。
MSSS：21FY1Q(1-3月)は需要回復により数量回復。



経常利益の変化要因 (20FY1Q→21FY1Q)

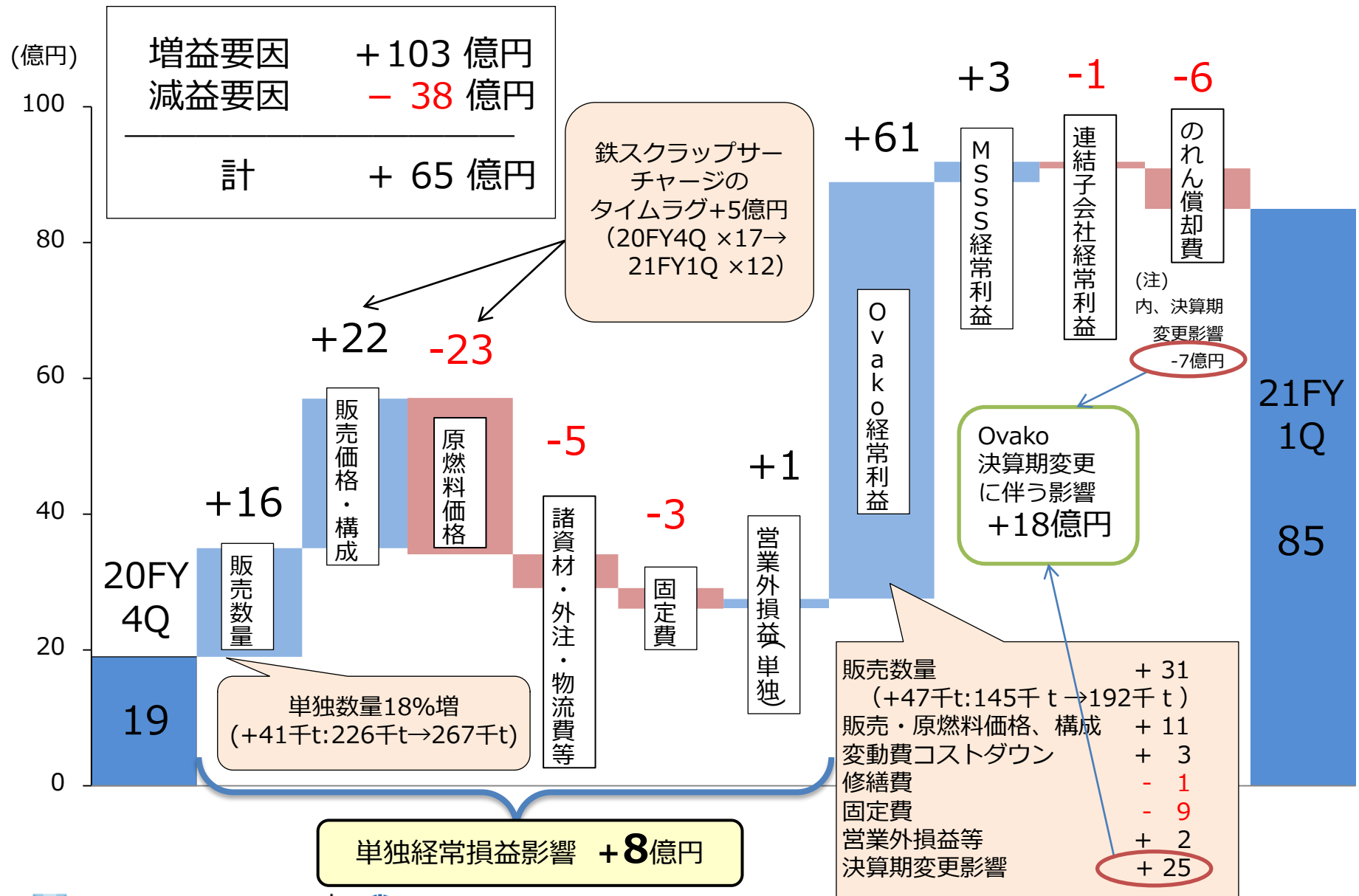
増益要因	+ 171億円
減益要因	- 69億円
計	+ 102億円



販売数量 (+19千t:173千t→192千t)	+ 13
販売・原燃料価格、構成	+ 15
変動費コストダウン	+ 3
修繕費	- 1
固定費	- 4
営業外損益等	+ 5
決算期変更影響	+ 25

(注) 内、決算期変更影響 **-7億円**

経常利益の変化要因 (20FY4Q→21FY1Q)



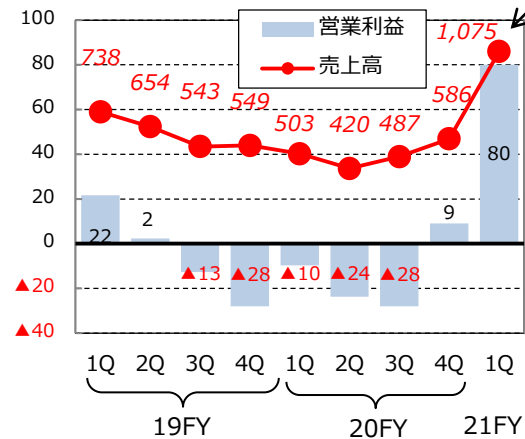
セグメント別損益

(単位：億円、%)

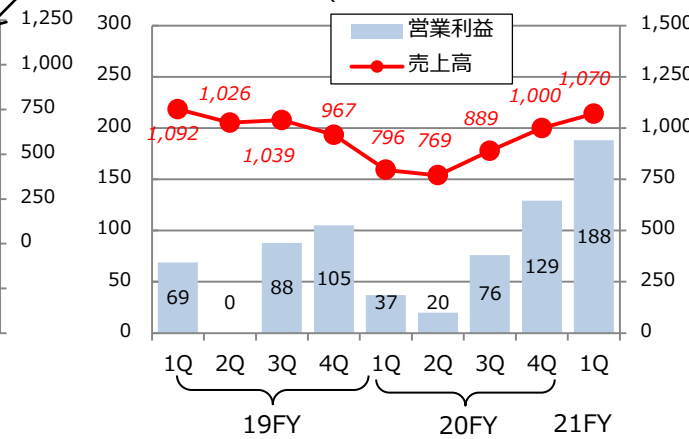
	2021FY1Q(A)			2020FY1Q(B)			対前年同期(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	売上高	営業利益	売上高 営業利益率
鋼材	1,075	80	7.5	503	▲10	-1.9	+571	+90	+9.4
粉末	11	2	17.6	8	0	4.7	+3	+2	+12.9
素形材	43	2	5.3	31	▲2	-7.9	+12	+5	+13.2
小計	1,128	84	7.5	542	▲12	-2.2	+586	+96	+9.7
その他	2	▲0	-4.3	3	0	1.8	-1	-0	-6.1
調整額	▲24	0	—	▲15	0	—	-10	+0	—
連結計	1,106	85	7.7	530	▲12	-2.2	+576	+96	+9.9

事業別損益推移

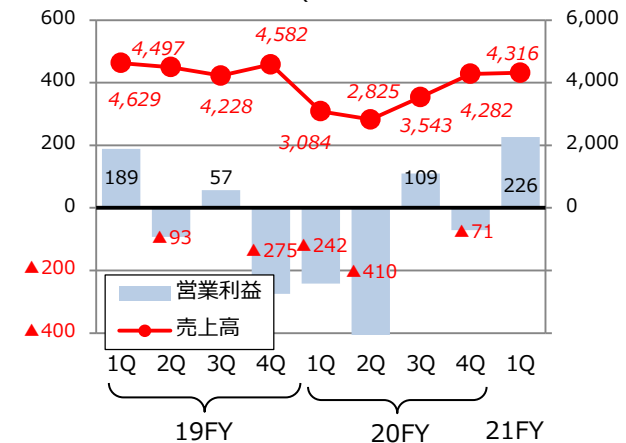
鋼材(単位:億円)

鋼材セグメントには
Ovako決算期変更影響を含む

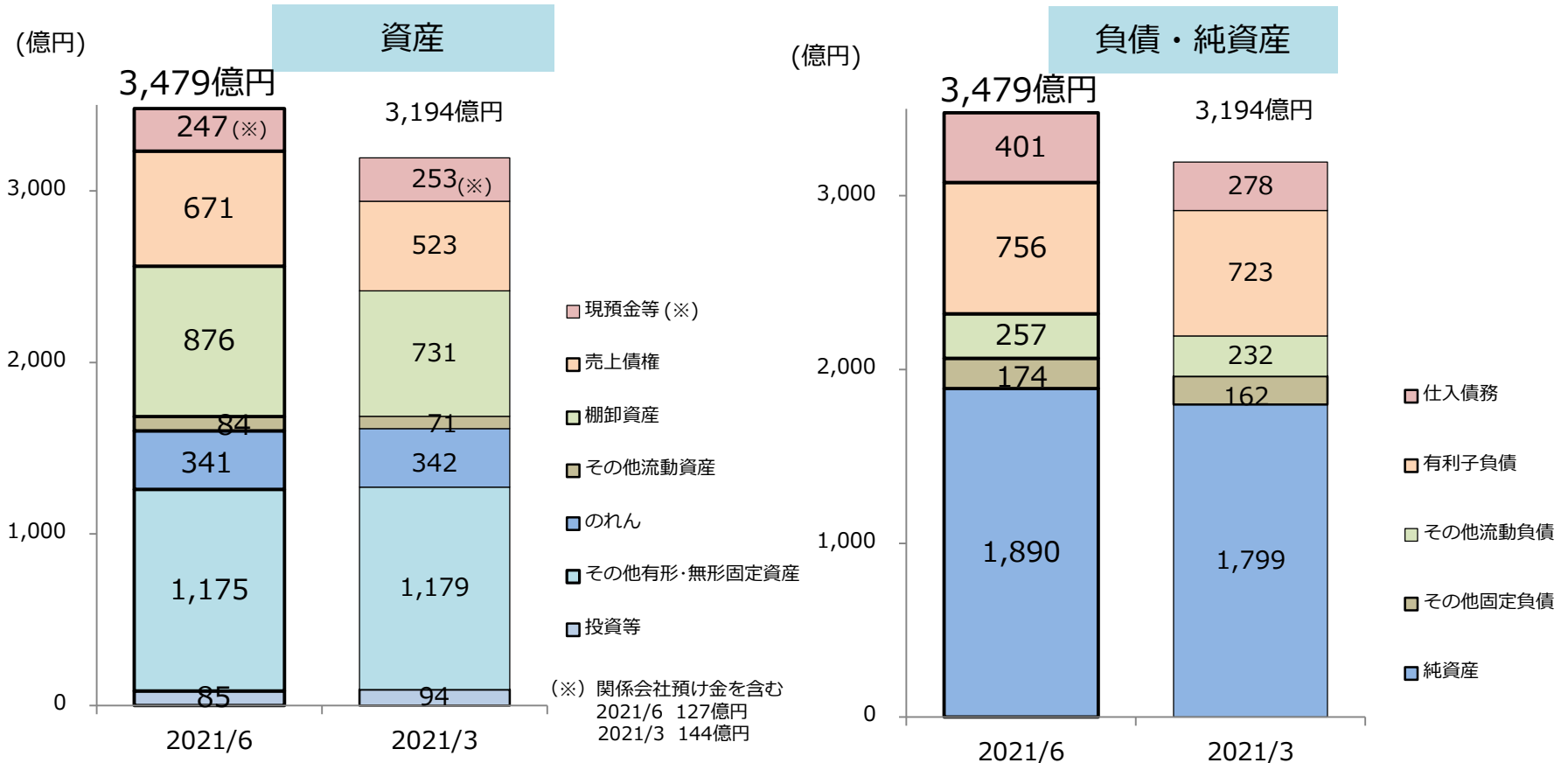
粉末(単位:百万円)



素形材(単位:百万円)



貸借対照表



資産の主な増減 +285億円 (+9%)

売上債権 +148億円：売上数量増加に伴う売上債権増加
 棚卸資産 +145億円：売上増加、原燃料価格上昇に伴う在庫増加
 のれん - 1億円：償却 -13億円、為替影響 +12億円

負債・純資産の主な増減 +285億円 (+9%)

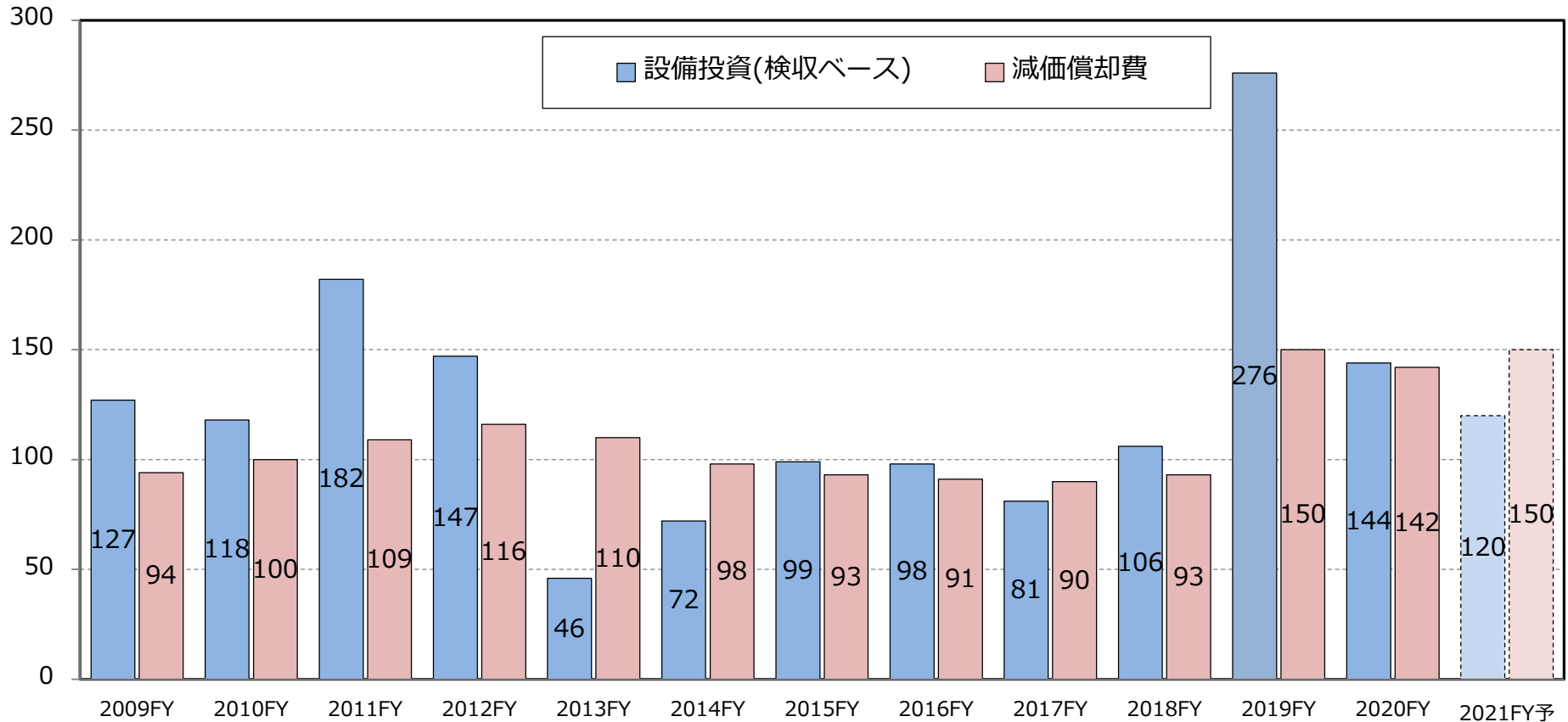
仕入債務 +123億円：原燃料価格上昇、売上増加に伴う仕入増
 有利子負債 + 34億円：運転資金増加にともない有利子負債増加
 純資産 + 91億円：利益剰余金 61億円、
 その他の包括利益累計額 +29億円

(参考)主要各社の総資産額(2021/6末:連結消去前)
 当社 2,529億円 Ovako 1,076億円 MSSS 111億円

自己資本比率
 2021/6末 53.9% 2021/3末 55.9%

設備投資・減価償却費の推移

(億円)

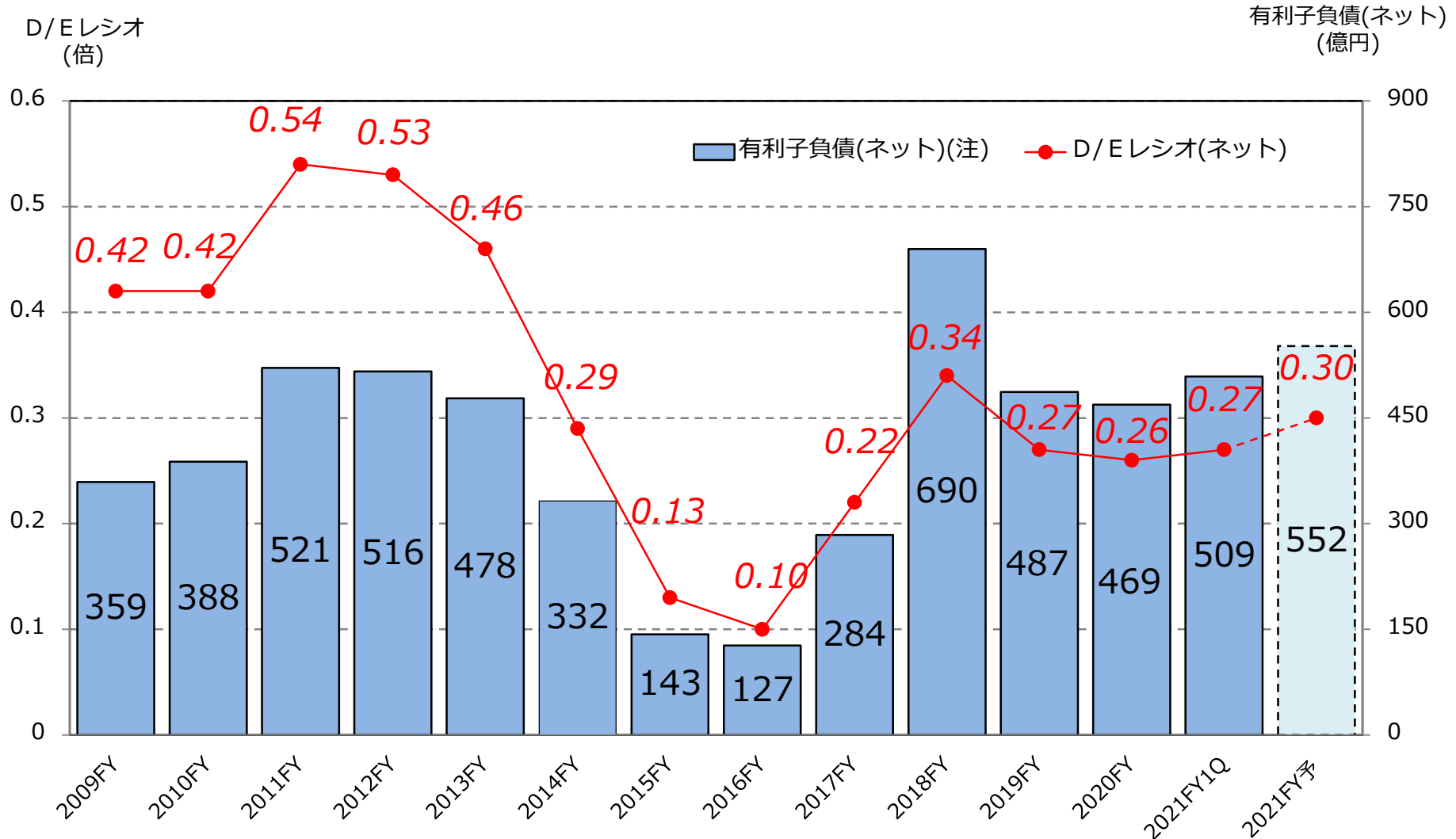


(注)2021FY予想の設備投資(検収ベース)120億円の内、当社単独51億円、Ovako 53億円、MSSS 7億円。
2021FY予想の減価償却費150億円の内、当社単独 78億円、Ovako 62億円、MSSS 0億円。

減価償却方法の変更について

- ◆2020FYより、当社単独および国内子会社は償却方法を変更(定率法→定額法)している。

D/Eの推移



(注)有利子負債(ネット)は、有利子負債残高から現預金および関係会社預け金残高を控除したものの

2. 業績予想等

2021FY業績予想の修正について(2021/7/30公表)

1. 2021FY見通し

・上期：連結経常利益85億円(前回予想比+45億円)

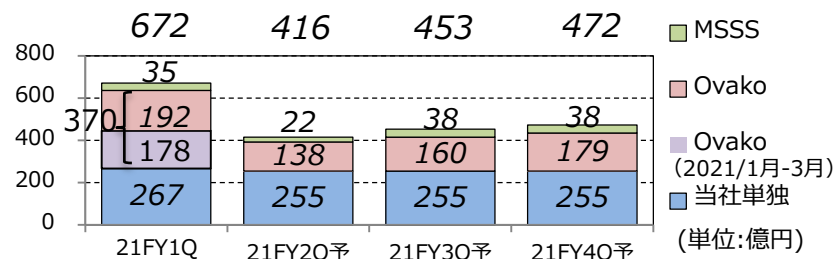
当社・Ovakoの販売数量が増加

・下期：連結経常利益20億円(前回予想比-10億円)

鉄スクラップ・合金鉄等原燃料価格の上昇を想定

・適正マージンの確保、海外事業の収益力の強化に努め、事業基盤の強化を図る

(参考)2021FY売上数量見通し(千t/Q)



2. 2021FY業績予想

	今回予想(A) 21/7/30			前回予想(B) 21/4/30			増減(A)-(B)			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	1,820	1,630	3,450	1,700	1,450	3,150	+120	+180	+300	
営業利益	87	22	109	41	32	73	+46	-10	+36	
経常利益	85	20	105	40	30	70	+45	-10	+35	
内、当社単独	44	13	57	35	27	62	+9	-14	-5	
内、Ovako(注1)	1-3月 25 4-9月 31	56	18	74	23	15	38	+33	+3	+36
内、MSSS(注2)	2	1	3	▲0	1	0	+2	+0	+3	
内、のれん償却費(注1)	1-3月▲7 4-9月▲13	▲20	▲13	▲33	▲19	▲12	▲31	-1	-1	-2
税後利益(注3)	61	10	71	18	17	35	+43	-7	+36	
のれん償却費を除く税後利益	81	23	104	37	29	66	+44	-6	+38	
売上数量(千t)	1,087	926	2,013	1,044	894	1,938	+43	+31	+75	
内、当社単独	522	510	1,032	474	479	953	+48	+31	+79	
内、Ovako	508	340	848	496	340	836	+12	-	+12	
内、MSSS	57	76	132	74	76	149	-17	-	-17	

(注1) Ovako損益およびのれん償却費：

決算期を従来の12月から3月へ変更したため2021FY予想は2021年1月～2022年3月の15カ月の数値
(2021FY上期予想は1月～9月の9カ月、2021FY下期予想は10月～2022年3月の6カ月の数値)

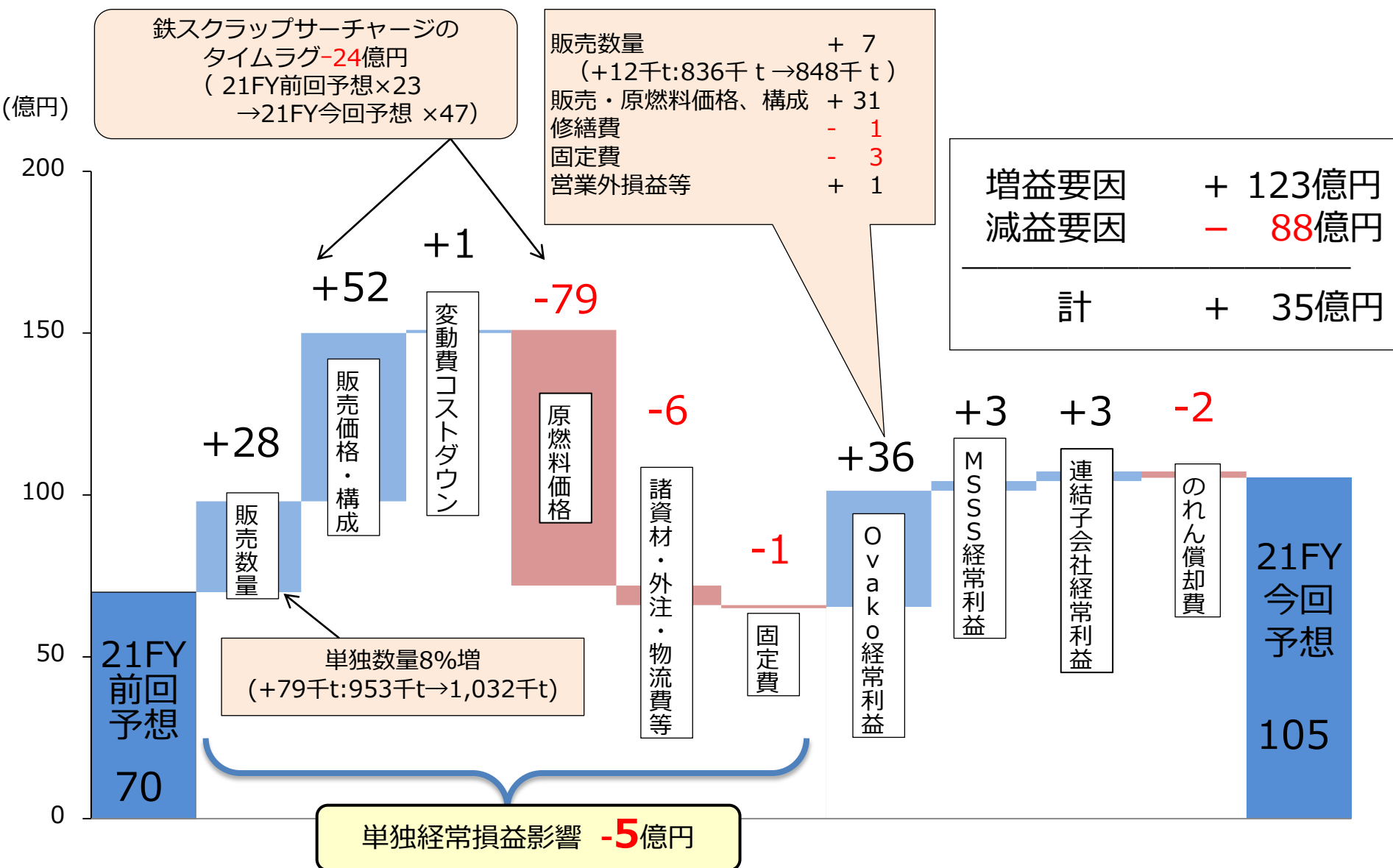
(注2) MSSS損益：1月～12月の数値

(注3) 親会社株主に帰属する当期純利益

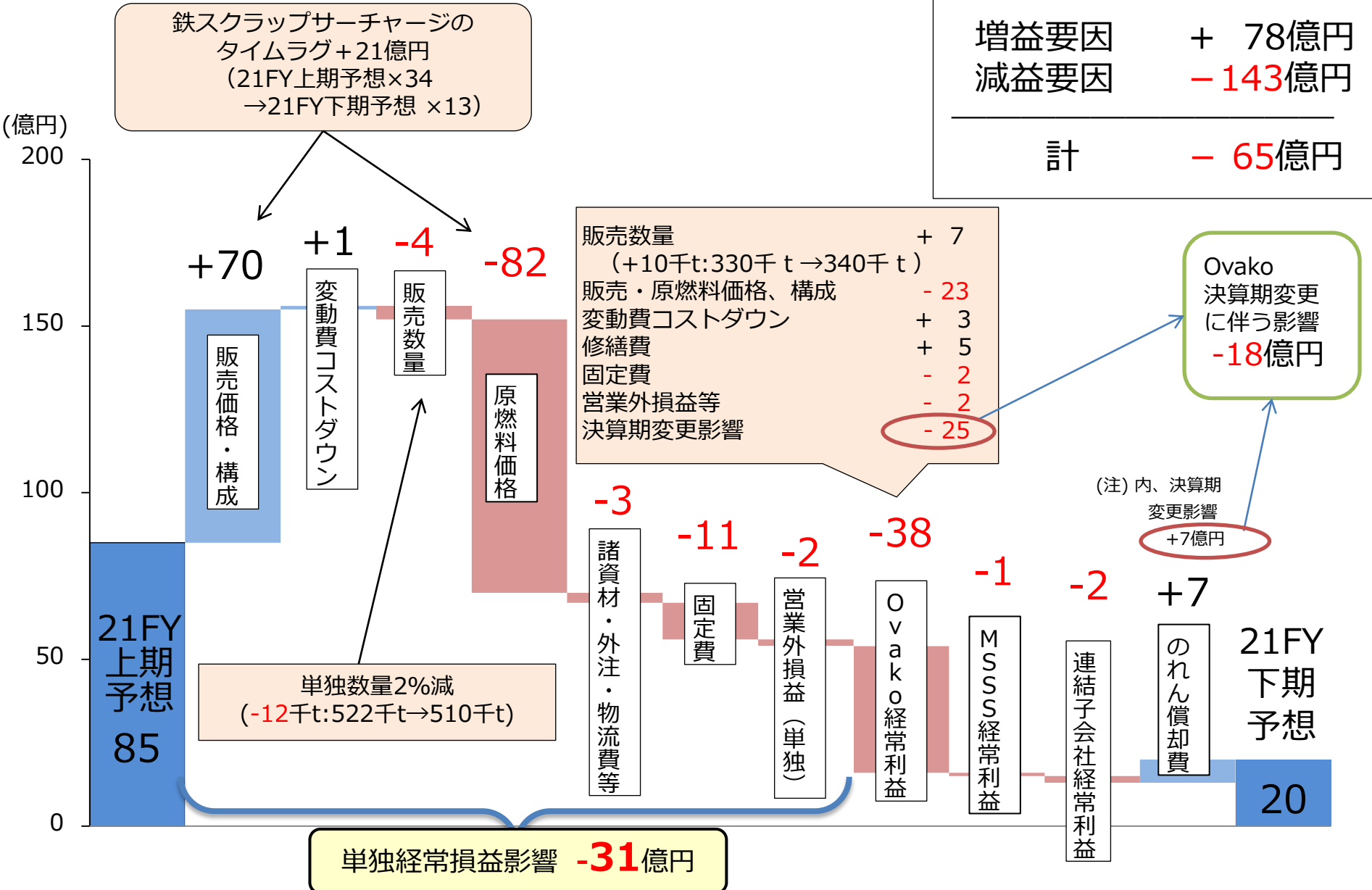
【予想の主要前提(2021年7月以降)】

・鉄スクラップ(購入) 55.0千円/t (姫路地区H2市況)
・原油(ドバイ) 80\$/BL ・為替 105円/\$、126円/€

経常利益の変化要因 (2021FY前回予想→2021FY今回予想)



経常利益の変化要因 (2021FY上期今回予想→2021FY下期今回予想)



Ovako業績

本社スウェーデンストックホルム。スウェーデン、フィンランドに工場を有する特殊鋼・鋼管・リング等の製造・販売会社。2019年3月完全子会社化。

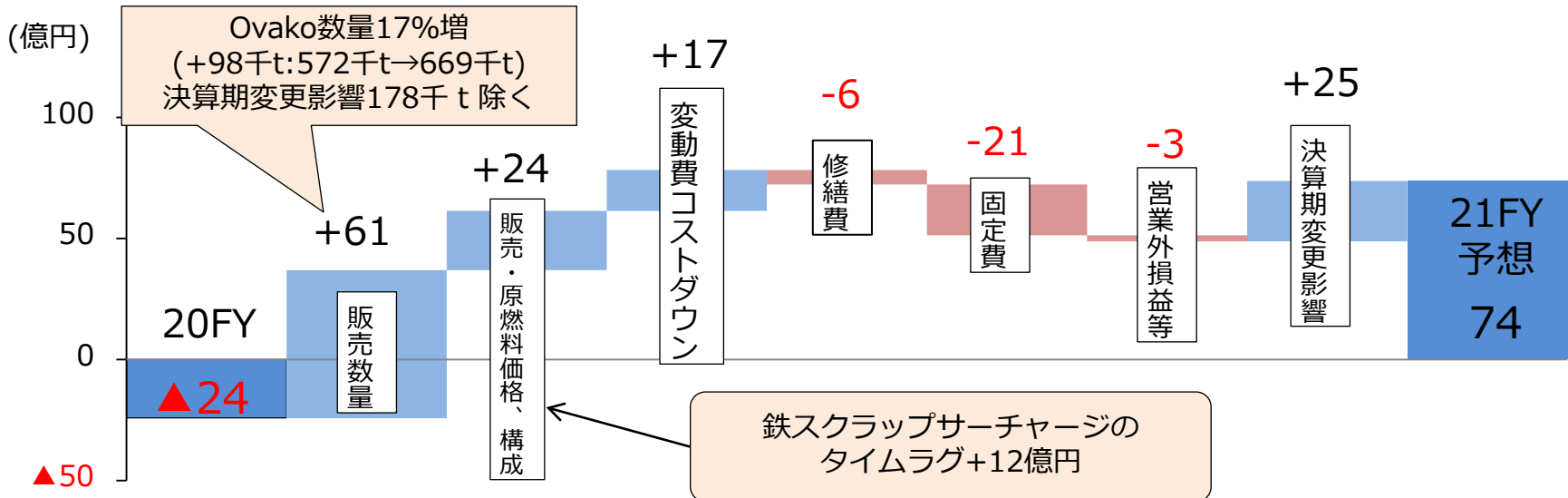
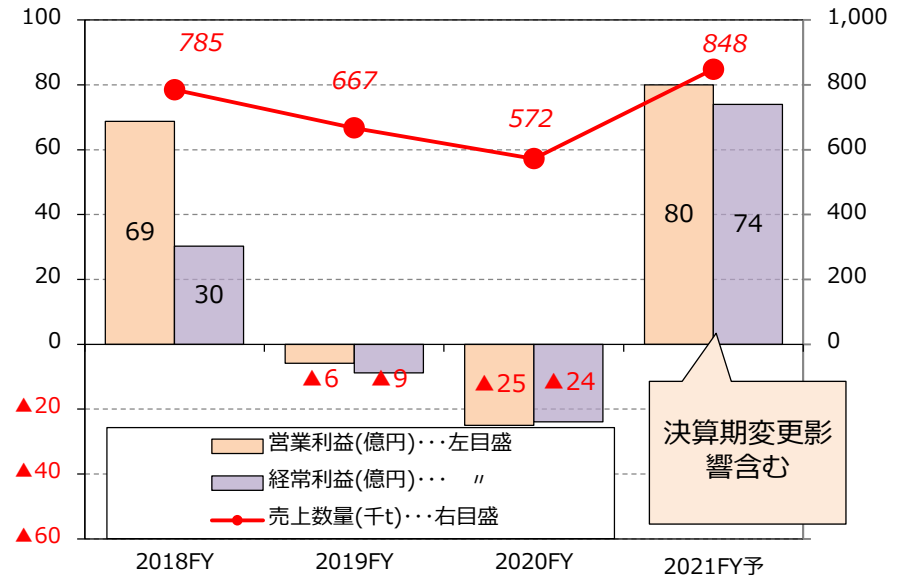
2021年度の見通し

- ・ 上期：経常利益56億円 (前回予想比+33億円)
下期：経常利益18億円 (前回予想比+ 3億円)
需要回復による販売数量増加等により、前回予想比増益見込み
- ・ 引き続き、固定費・変動費削減に取り組むとともに、旺盛な需要の捕捉により、計画の達成を目指す。
- ・ 2021年度から決算期を12月から3月へ変更 (P5ご参照)

収益力の強化、サポート体制

- ・ 収益力の強化
変動費・固定費削減の実行、販売価格の改善
- ・ 3社連携によるシナジー効果の発揮
① 拡販活動の推進 ② 操業支援によるコスト削減
③ 調達コストの削減
- ・ Ovakoアドバイザリーコミッティー
当社社長をヘッドとした経営サポート体制を構築し、Ovakoの収益改善に向けた取り組みを強化。

営業利益、経常利益、売上数量推移



MSSS業績

Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.
 本社インドムンバイ。特殊鋼一貫製造・販売子会社。2018年6月子会社化。

2021年度の見通し

コロナ影響

- ・2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大で、MSSS工場所在地(マハラシュトラ州コポリ)がロックダウン
- ・MSSSは2020年3月下旬から5月中旬、7月中旬から下旬にかけて操業停止。
- ・自動車を中心に需要は大幅に低下したが、自動車販売は2020年4月を底に回復
- ・MSSSの販売数量は2020FY2Q(4-6月)を底に回復していたが、2021年4月、コロナ感染拡大に伴い酸素供給が停止、生産に影響
- ・2021年6月から酸素供給が再開され、7月から通常操業

・上期：経常利益2億円(前回予想比+2億円)

前回予想比で、販売数量は減少するが、販売価格改善等により黒字見込み

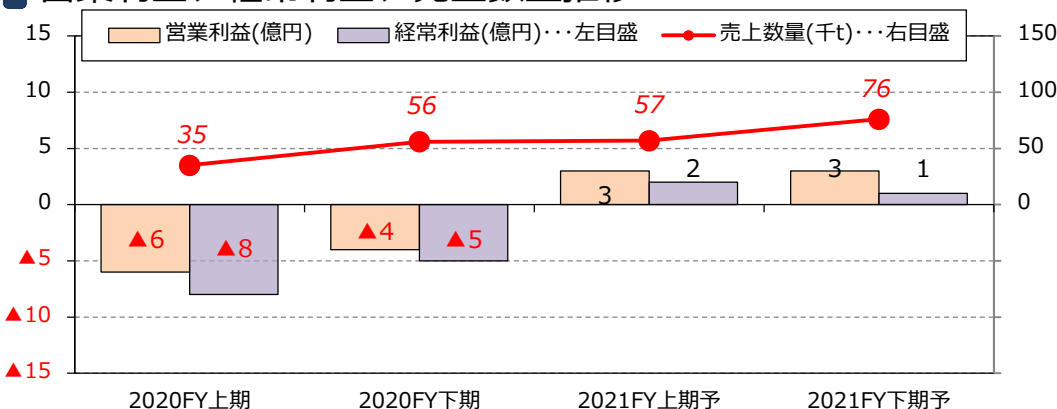
・下期：経常利益1億円(前回予想比±0億円)

- ・コスト競争力・営業力の強化により、拡大・高度化するインド市場でのポジションを高め、2021年度黒字化をめざす。

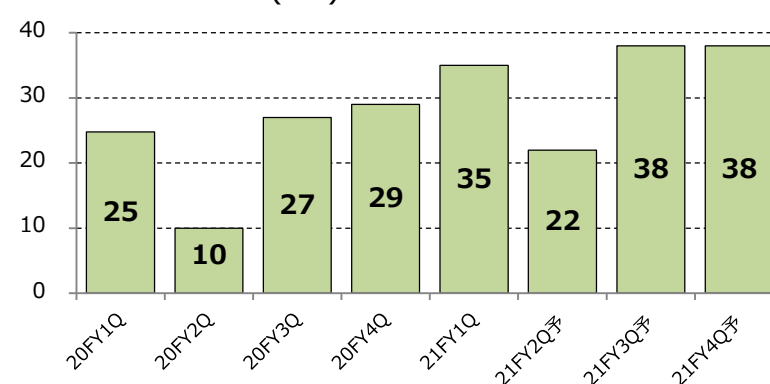
収益確保に向けた取り組み

- ・固定費の削減
 要員適正化を含む
 労務コストの削減
- ・変動費の削減
 エネルギー原単位改善や
 安価原料の有効活用による
 操業コスト・調達コストの削減
- ・営業基盤・営業体制の強化
 拡販、販売構成の高度化、
 販売価格の改善

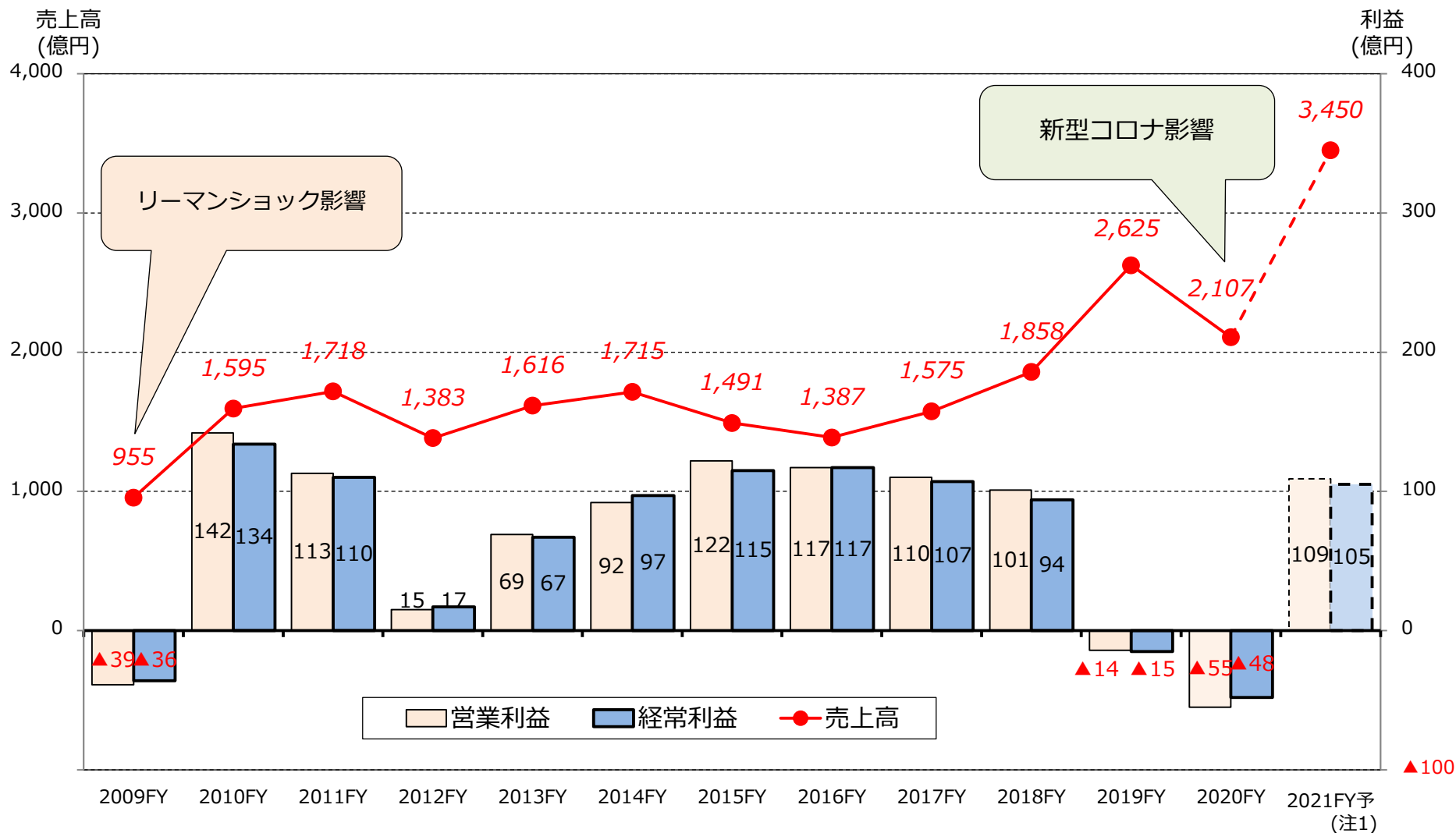
営業利益、経常利益、売上数量推移



MSSS売上数量(千t)

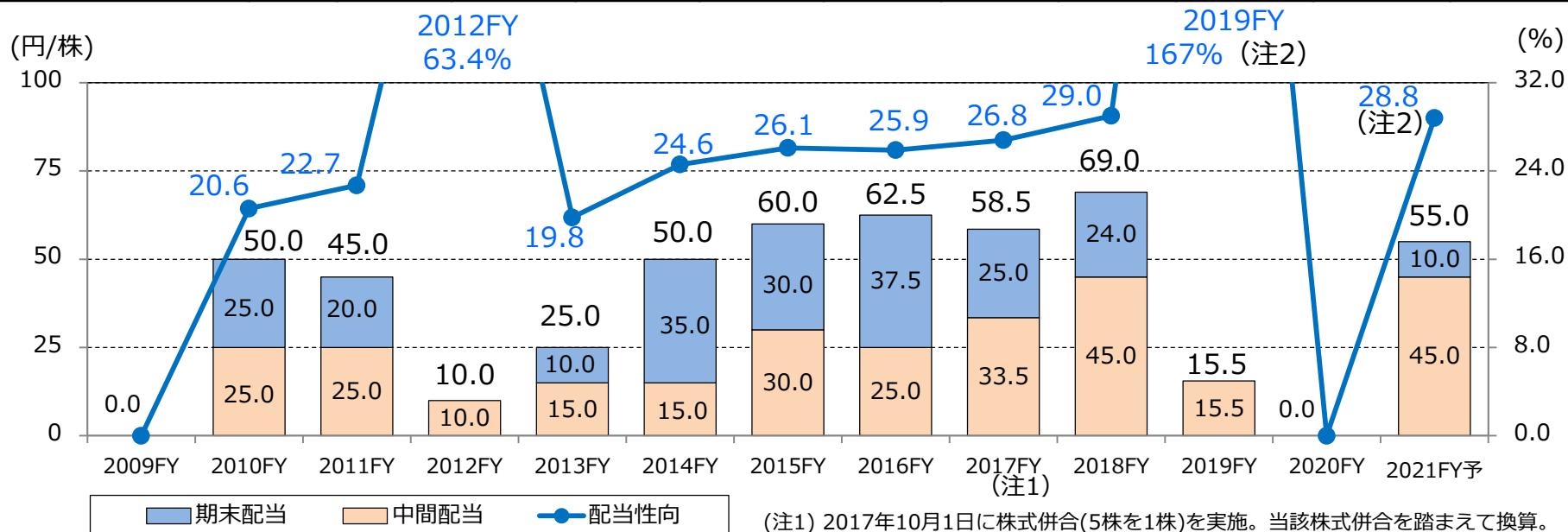


業績推移(年度)



2021FY配当予想の修正について(2021/7/30公表)

			今回予想 (A)			前回予想 (B)			増減 (A) - (B)		
			上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
1株当たり純利益	A	円/株	112.0	-	130.3	33.0	-	64.2	+78.9	-	+66.1
のれん償却費を除く 1株当たり純利益	B	円/株	148.7	-	190.9	67.9	-	121.1	+80.8	-	+69.7
1株当たり配当金	C	円/株	45.0	10.0	55.0	20.0	16.0	36.0	+25.0	-6.0	+19.0
配当性向	C/B	%	30.3	-	28.8	29.5	-	29.7	+0.8	-	-0.9
	C/A	%	40.2	-	42.2	60.6	-	56.0	-20.4	-	-13.8



(注1) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。当該株式併合を踏まえて換算。
(注2)のれん償却費を除く1株当たり純利益から算出。

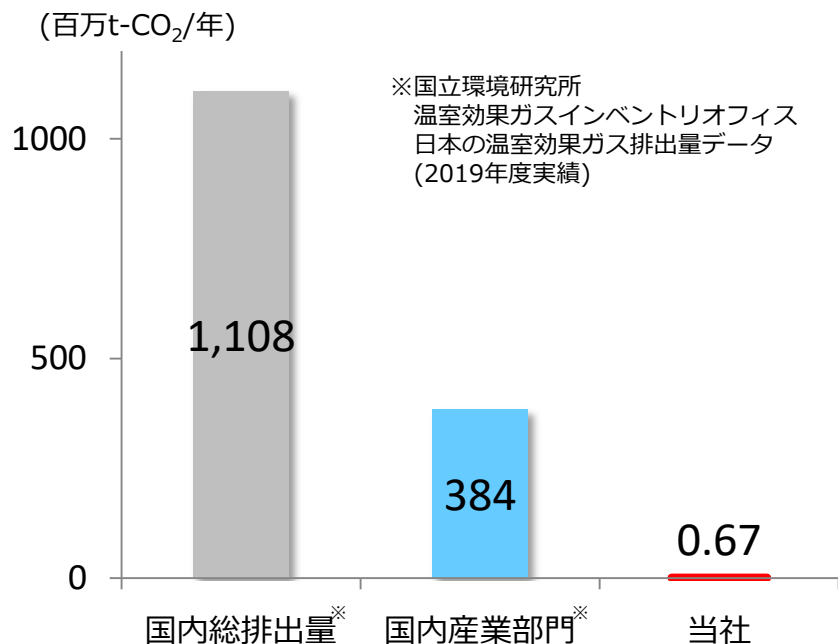
<配当方針>

のれん償却費を除く1株当たり当期純利益に配当性向 30%程度を乗じた金額を配当額とする

3. 2050年カーボンニュートラル（CN） 実現に向けた取り組み

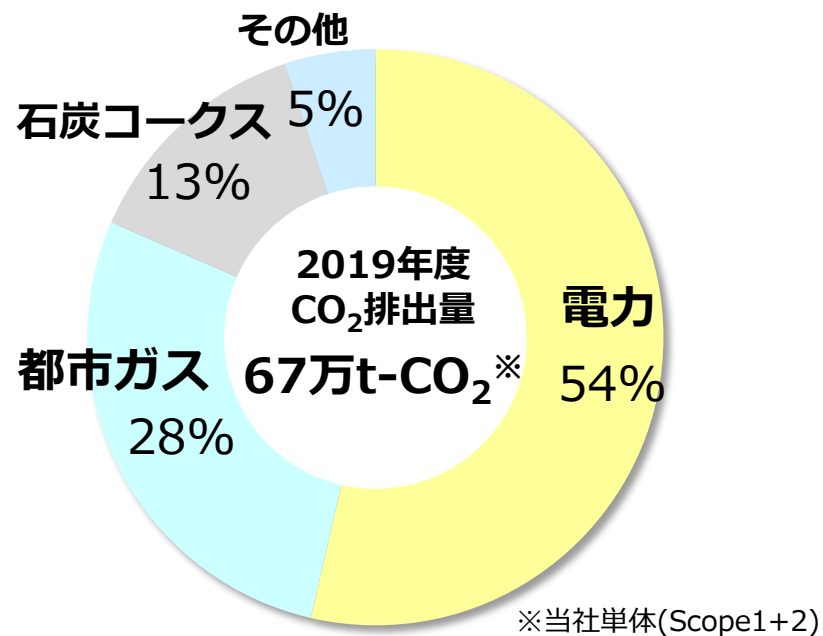
当社の状況とカーボンニュートラルに向けた考え方

CO₂排出量における当社の位置づけ (2019年度CO₂排出量)



- 再生資源である鉄スクラップを主原料として特殊鋼を製造する当社のCO₂排出量は、国内産業部門の0.2%程度

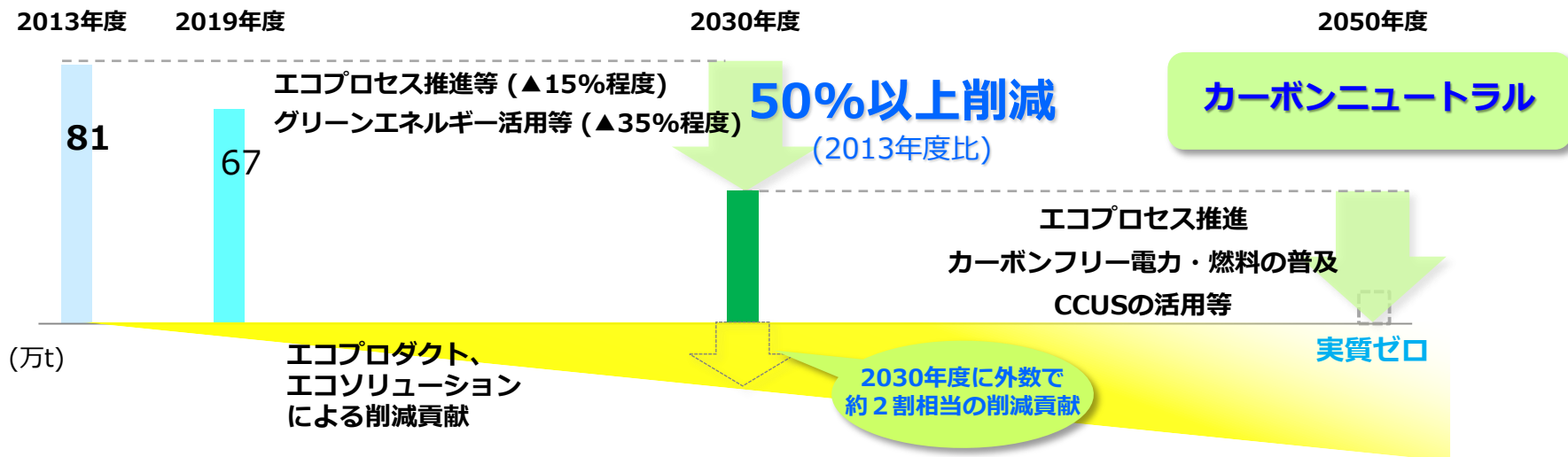
当社のCO₂排出量内訳



- 当社のCO₂排出の80%以上が電力と都市ガス

製造工程における省エネとグリーンエネルギーの活用、及びエコプロダクト・エコソリューションによる貢献で、自社の製造工程だけでなく、社会のあらゆる段階でのCO₂排出削減を目指す

2050年に向けたロードマップ



エコプロセス



- リジェネバーナーを
採用した省エネ加熱炉

製造現場を中心とした全社の
省エネ対策やエネルギー効率
を高める製造技術開発を推進

グリーンエネルギー活用



カーボンフリー電力や脱化石
燃料、自然エネルギーの活用

※Ovako事例参照

エコプロダクト



- 長寿命風力発電用
軸受鋼の開発

製品を使用する段階でCO₂排出
削減に貢献する商品や、需要
家のエコプロセスに貢献する
商品の開発・供給を推進

エコソリューション



- 海外グループ会社
への技術展開

エネルギー原単位削減に寄与
する省エネや生産性向上技術
をOvako、MSSS等の海外グ
ループ会社に展開

エコプロダクトによるCO₂排出量削減への貢献

当社は、お客様での部品製造や最終製品としての使用段階におけるCO₂排出削減に貢献するエコプロダクトの開発に注力

長寿命軸受鋼

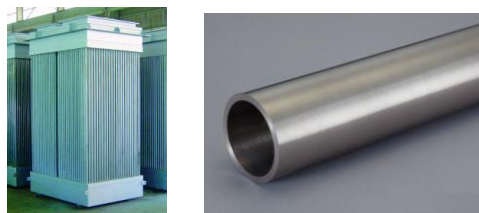


耐久性・信頼性向上による
部品の小型・軽量化



長寿命化による
故障率低減・メンテフリー化

耐熱ステンレス鋼管



高強度化による
熱回収効率向上

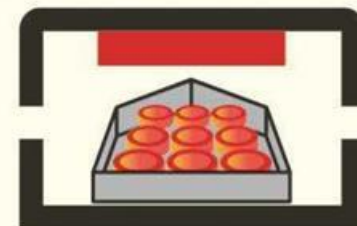


高耐食性化による
ごみ発電高効率化

高硬度高靱性鋼



新成分+新熱処理技術による
部品硬化熱処理負荷の軽減

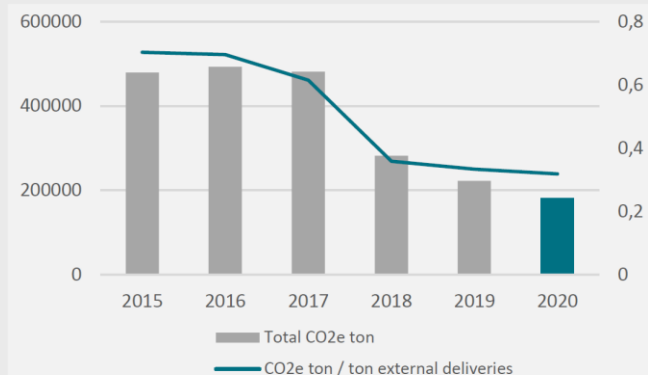


- 当社材料技術を活用したエコプロダクトによる社会のあらゆる段階でのCO₂排出削減貢献を目指す
- 今後も長寿命化等、材料特性をさらに強化したエコプロダクトの実装と一層の普及を図ることで、カーボンニュートラル社会の早期実現に貢献していく

欧州子会社Ovakoの取り組み

Green house gas emissions from operations

CO₂e/ton Scope 1 and 2 according to GHS Protocol and ISO14064



2030



Reduce CO₂ from operations by 80 % from 2015 level



Continue to evolve our world-leading CO₂ footprint



Enhanced steel recyclability driven by Ovako initiatives



Increased number of customer end-products that use our steel for greater CO₂ savings

■ OvakoはCO₂排出削減に向けて世界的にも先進的な取り組みを推進し、2020年には2015年比で54%削減

■ 2030年には製造工程で排出するCO₂を2015年比で80%削減を図る方針

※Ovako SUSTAINABILITY REPORT 2020

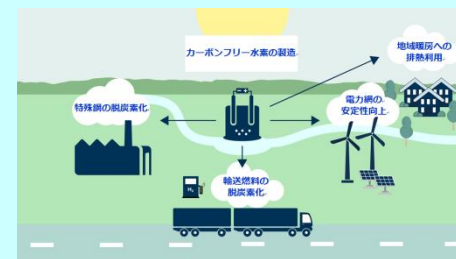
世界初 水素を燃料に用いた鋼片加熱に成功

- 2020年4月にスウェーデンのHofors工場で、ピット炉の燃料に水素を用いた鋼片加熱に世界で初めて成功
- 製品品質への影響もなく、実用化できれば加熱時のCO₂排出がゼロとなり、Hofors工場では年間2万tのCO₂削減が可能



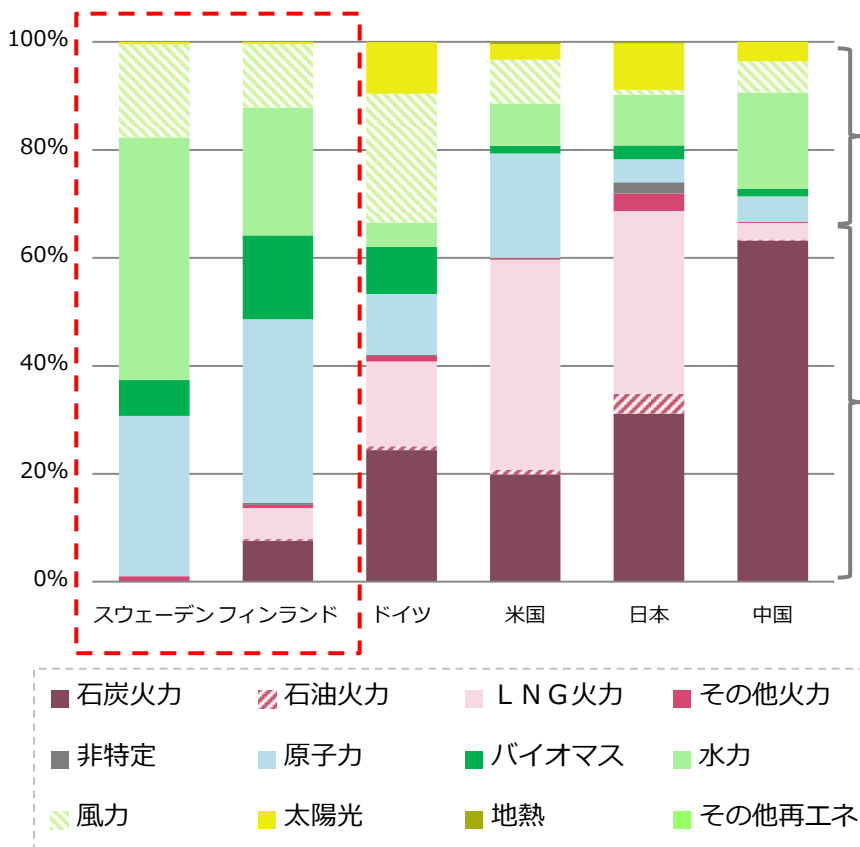
カーボンフリー水素プラントの建設に着手

- 2021年6月にHofors工場で脱化石電力を活用した水の電気分解でカーボンフリー水素を生成するプラントの建設に着手
- スウェーデン政府の支援とVolvo等の現地有力企業の参加で経済合理性の高い建設計画が実現
- 2022年内完成予定で、カーボンフリー水素プラントとしてはスウェーデンで最大規模
- 安価で大量供給が可能なカーボンフリー水素の確保が可能
- 将来的な燃料電池トラック等への供給など、地域水素インフラ整備の第一歩となる



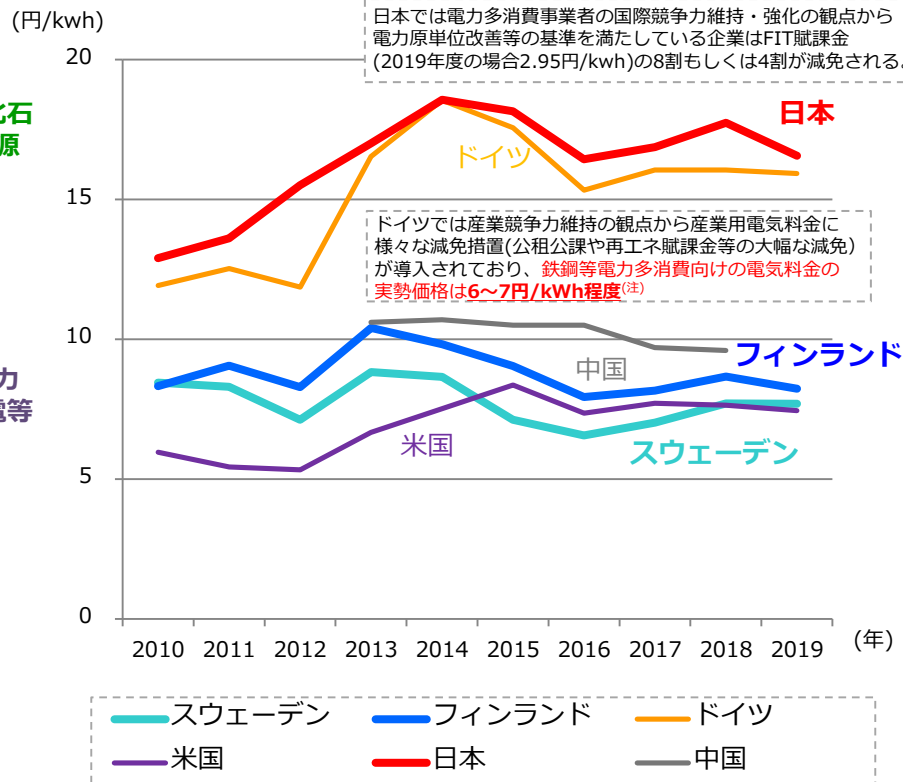
(参考) 各国の電源構成と産業用電力価格

■ 電源構成(2020年)



※ IEA(国際エネルギー機関)「Monthly Electricity Statistics」より当社作成

■ 産業用電力価格の推移



日本では電力多消費事業者の国際競争力維持・強化の観点から電力原単位改善等の基準を満たしている企業はFIT賦課金(2019年度の場合2.95円/kWh)の8割もしくは4割が减免される。

ドイツでは産業競争力維持の観点から産業用電気料金に様々な减免措置(公租公課や再エネ賦課金等の大幅な减免)が導入されており、鉄鋼等電力多消費向けの電気料金の実勢価格は6~7円/kWh程度(注)

※ スウェーデン・フィンランド・ドイツ・米国・日本については英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省「Industrial electricity prices in the IEA」より、中国については、(公財)自然エネルギー財団「中国の電力システム改革」より当社作成
 (注) 国際環境経済研究所「海外のカーボンプライシングの実態」

Ovakoの生産拠点が立地するスウェーデン、フィンランドは脱化石電力(水力、風力、原子力)比率が圧倒的に高い

スウェーデン、フィンランドの産業用電力価格は日本の1/2~1/3程度

4. トピックス

トピックス

ESG

(1)新市場区分「プライム市場」への適合について(2021年7月9日)

- ・ 当社は、2022年4月に予定されている市場区分の見直しに関して、株式会社東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領。
- ・ 当社は「プライム市場」の上場維持基準を充たしていることを確認。
- ・ 今後、移行後の市場区分選択の取締役会決議を経た上で、東京証券取引所に申請を行う予定。

(2)新型コロナウイルスワクチンの職域接種を開始(2021年6月29日)

- ・ 同一健康保険組合に属する当社・子会社の従業員・配偶者約3,000人が対象。
- ・ 初日(2021年6月29日)は、190名に接種を実施し、9月末までに完了予定。



【産業医によるワクチン接種の様子】

(3)工業高校へ実習用鋼材を提供 (2021年6月24日)

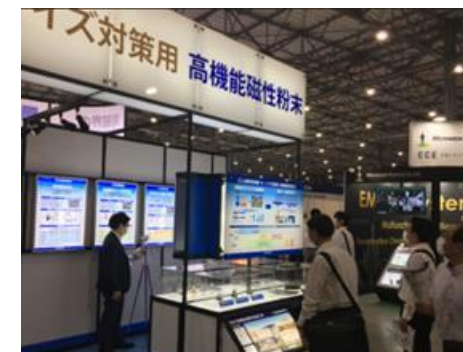
- ・ 当社は、姫路市内の工業高校へ旋盤実習用の鋼材約1.8トンを提供。
- ・ 今年9月に、当社社員による出張授業を実施予定。
- ・ 今後も、地元学生の知識習得と技能向上に貢献していく。



【当社提供の鋼材を使った実習】

(4)ノイズ対策用の磁性金属粉末を展示 (2021年6月23日～25日)

- ・ 東京ビッグサイトにて開催された「テクノフロンティア2021」に出展。
- ・ 高いノイズ抑制効果を示す粉末や、5G通信や車載レーダーへ適用可能な粉末など、さまざまな用途に合わせた磁性金属粉末をアピール。
- ・ 5G通信・AI・自動運転など、今後市場拡大が期待される先進技術分野での活用に向けて、積極的な商品開発と拡販を推進していく。



【当社出展ブースの様子】

5. 參考資料

新型コロナウイルス感染症への対応(2021年7月30日時点)

国内での対応

- ・ 政府や各自治体からの要請に沿って対応。
- ・ 在宅勤務が可能な職務の従事者は、在宅勤務を推奨（テレワーク環境を整備済）。
- ・ 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発令地域：
在宅勤務を最大限活用。出社が必要な場合は原則20時までに帰宅。
行事・懇親会は原則見合わせ。
- ・ 混雑時間帯を避けた出退勤（姫路地区の公共交通機関利用者は4%）。
- ・ 出社前の検温を実施。来訪者も入構時に検温を実施（各門・受付にサーモグラフィーカメラを設置）。
- ・ 手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用、室内の換気を徹底。
- ・ 会議はWeb等の利用を推奨。
- ・ 食事場所は席の距離を可能な限り確保。会話は控え、会話する場合はマスクを着用
- ・ 国内出張は厳選して実施。首都圏・大阪を出発地・目的地とする出張は原則見合わせ。
- ・ 海外出張は原則見合わせ。

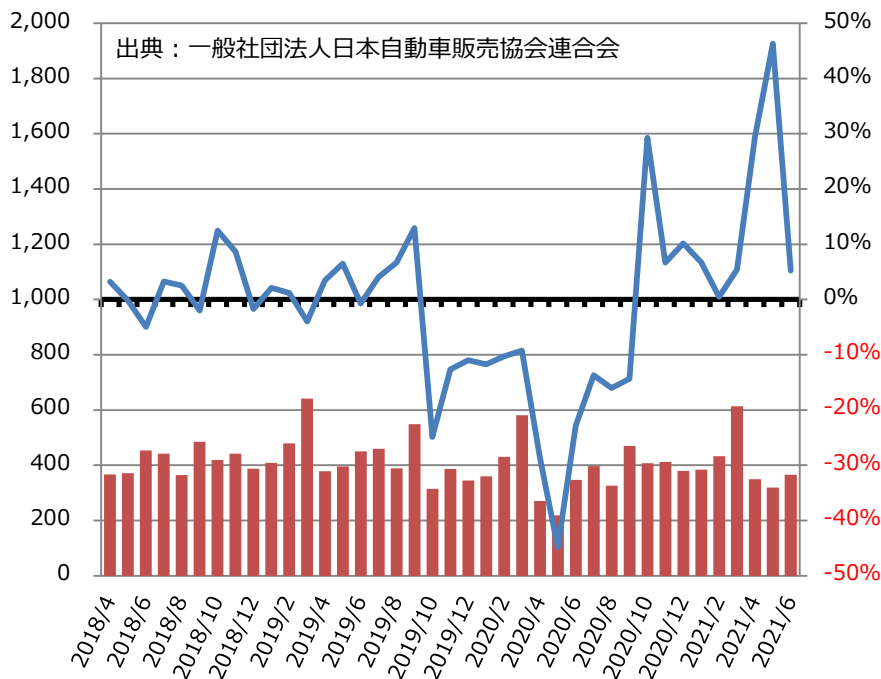
海外での対応

- ・ 各国の法令・方針に従った措置を行う（情報収集、駐在員・家族へのサポートを実施中）。
- ・ 各国のコロナ感染拡大の状況に応じて、海外派遣者の日本への一時帰国を実施。
- ・ インド派遣者は一時日本に帰国中。リモートにて緊密にコミュニケーションを図り、経営管理を徹底。現在のインド感染状況の落ち着きを踏まえ、帰任を計画中。

自動車市場の動向

日本自動車販売台数 (前年同月比増減率)

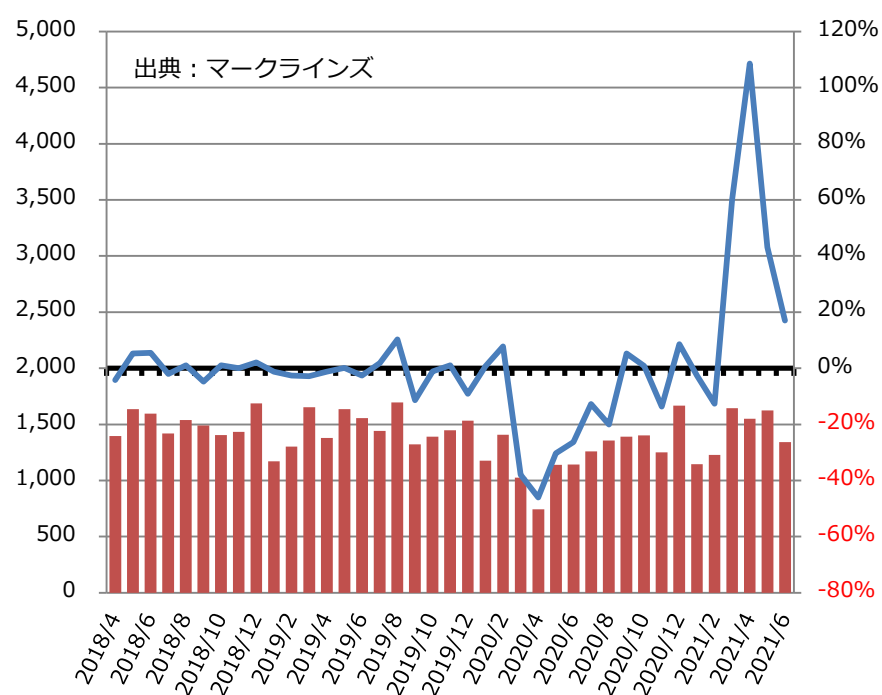
(台数:千台)



- ・ 2020/5を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/5 : 前年同月比 +46.3% (前年同期大幅減の反動)
- ・ 2021/6 : 前年同月比 +5.3%

米国自動車販売台数 (前年同月比増減率)

(台数:千台)

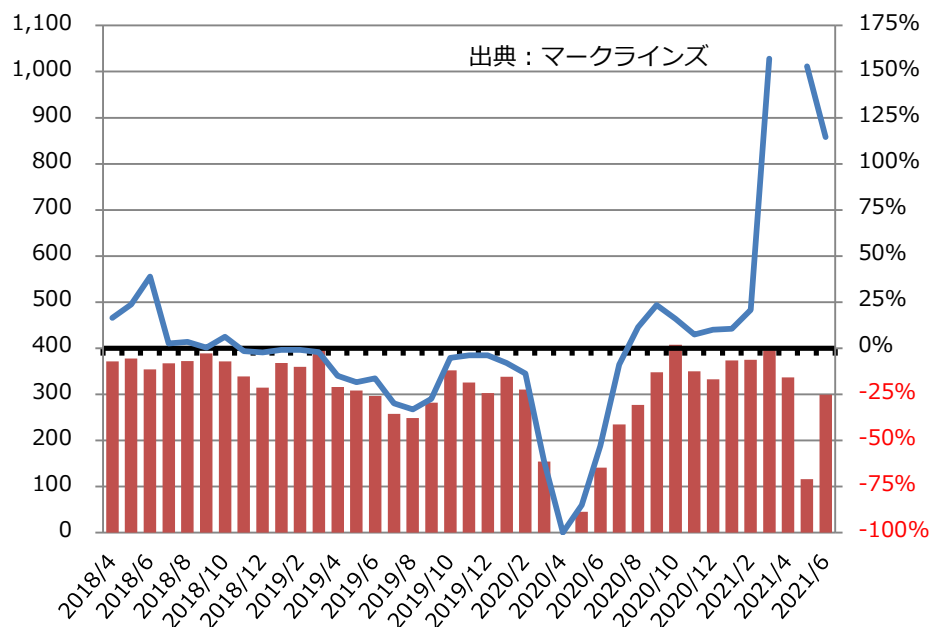


- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +108.6% (前年同期大幅減の反動)
- ・ 2021/6 : 前年同月比 + 17.0%

自動車市場の動向

インド自動車販売台数 (前年同月比増減率)

(台数:千台)

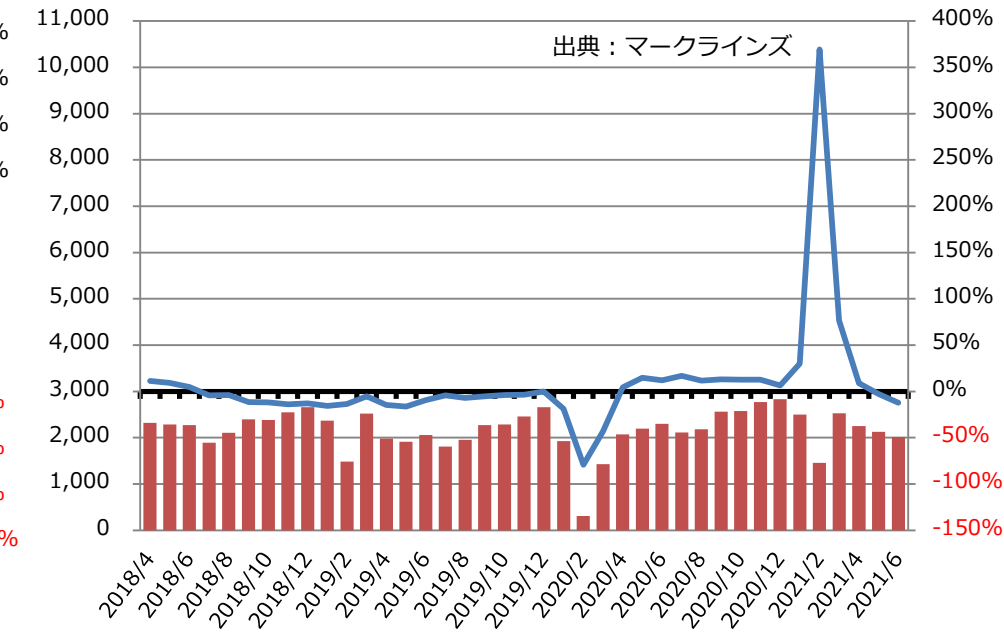


- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/5 : 新型コロナウイルス影響再拡大により一時的に落込み
- ・ 2021/6 : 前年同月比 +114.6%

中国自動車販売台数(工場出荷台数ベース)

(前年同月比増減率)

(台数:千台)

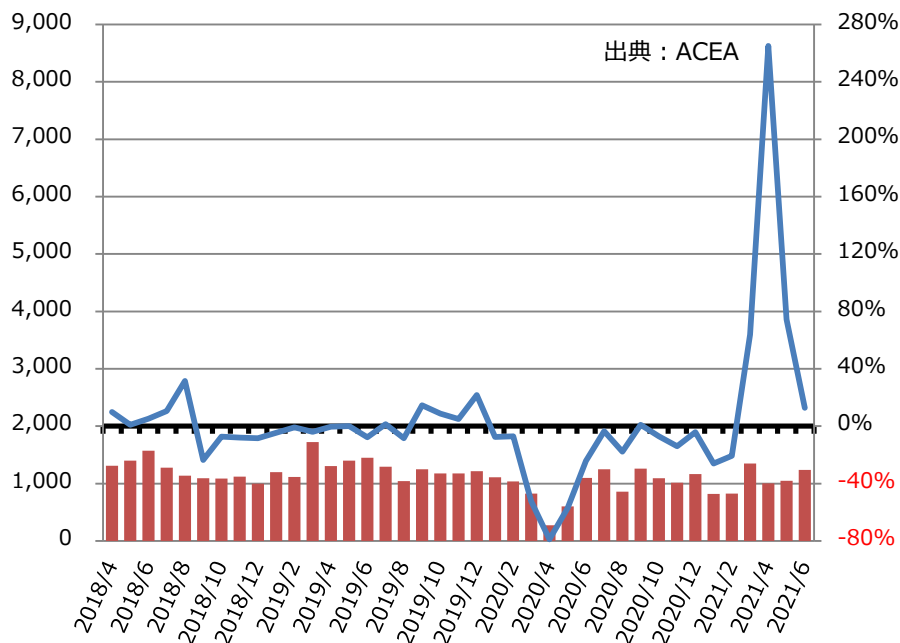


- ・ 2020/2を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/6 : 世界的な半導体不足による自動車生産減少影響で前年同月比 -12.4%

自動車市場の動向

欧州自動車販売台数 (前年同月比増減率)

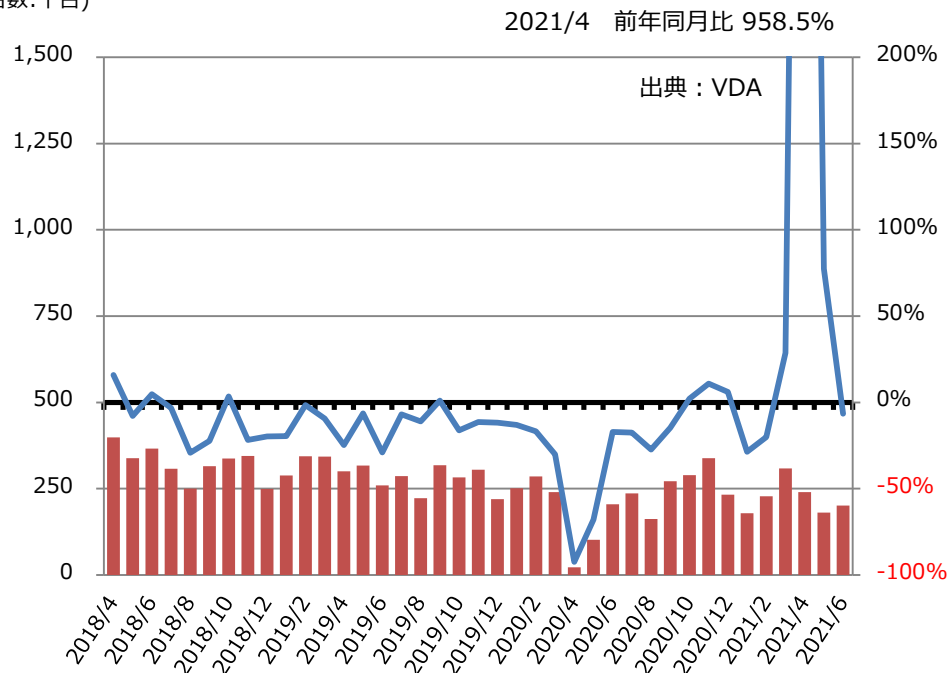
(台数:千台)



- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +265.0%(前年同月大幅減の反動)
- ・ 2021/6 : 前年同月比 +12.7%

ドイツ自動車輸出台数 (前年同月比増減率)

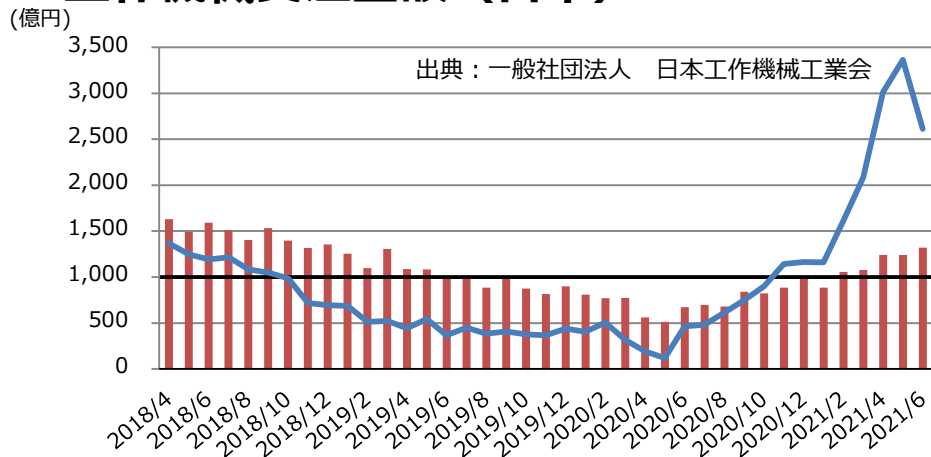
(台数:千台)



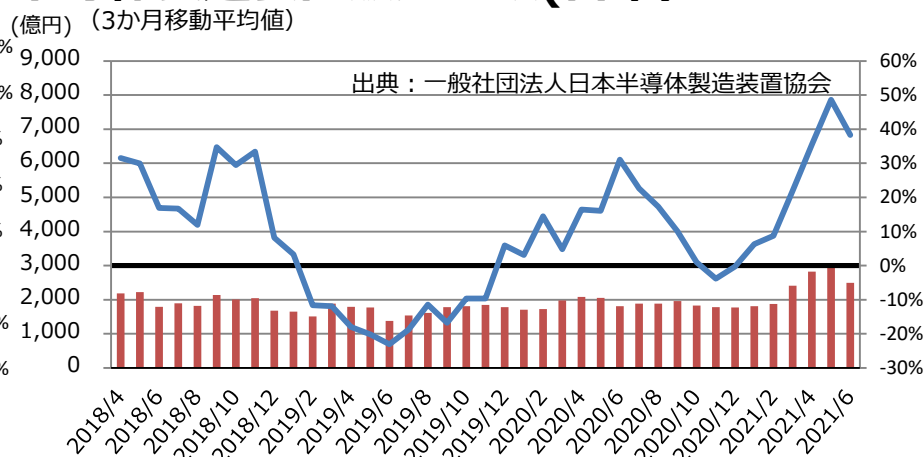
- ・ 2020/4を底に新型コロナウイルス影響による落込みから回復傾向
- ・ 2021/4 : 前年同月比 +958.5%(前年同月大幅減の反動)
- ・ 2021/6 : 前年同月比 -6.5%

産業機械・建設機械市場の動向

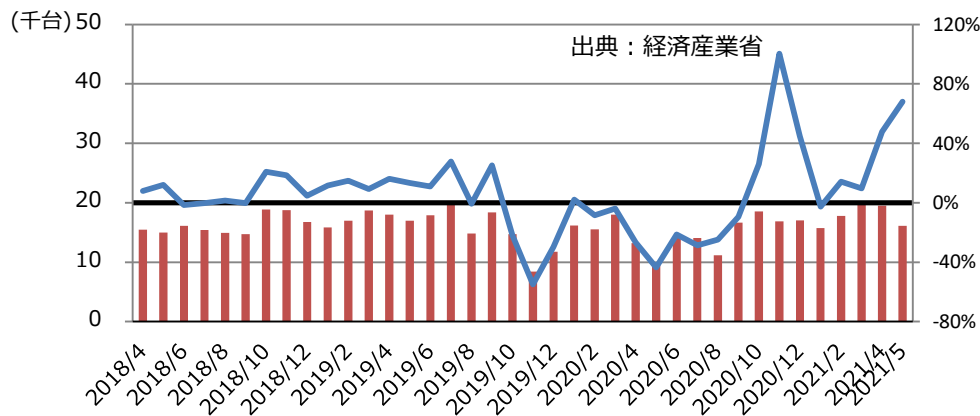
工作機械受注金額（日本）（前年同月比増減率）



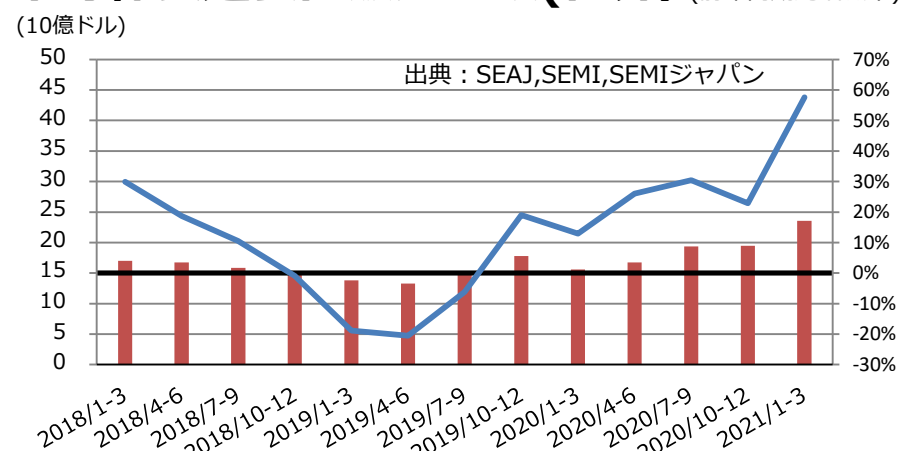
半導体製造装置販売金額（日本）（前年同月比増減率）



シヨベル系建設機械国内生産台数（前年同月比増減率）



半導体製造装置販売金額（世界）（前年同期比増減率）



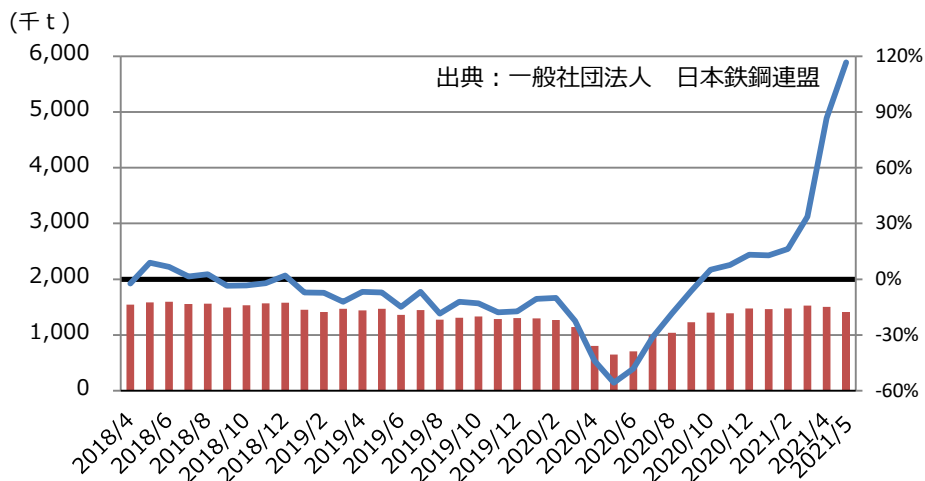
工作機械：新型コロナウイルス影響で2020/5に前年同月比-53%まで下落。足元では同+97%に回復。

半導体製造装置：2020年7月以降、米中貿易摩擦の影響で日本では前年同月比減少傾向。2020/12以降は、5G普及による需要増、世界的な供給不足に伴うメーカーの増産投資意欲の高まりで回復。2021/6は前年同月比+38.3%。

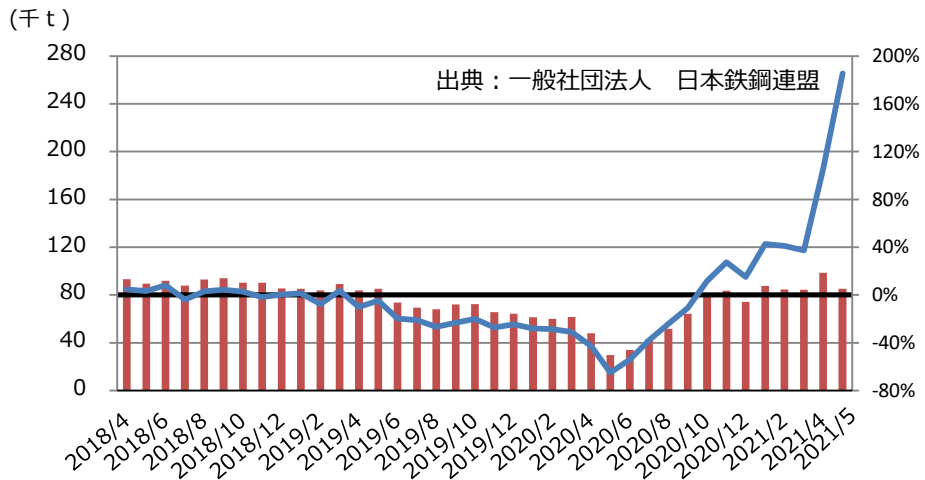
建設機械：2020/2以降は新型コロナウイルス影響で前年同月比でマイナス推移。2020/10以降は中国や欧米での需要回復と前年の反動で前年同月比は回復。足元では+68.1%。

特殊鋼需要の動向

日本特殊鋼受注数量（特殊鋼）（前年同月比増減率）

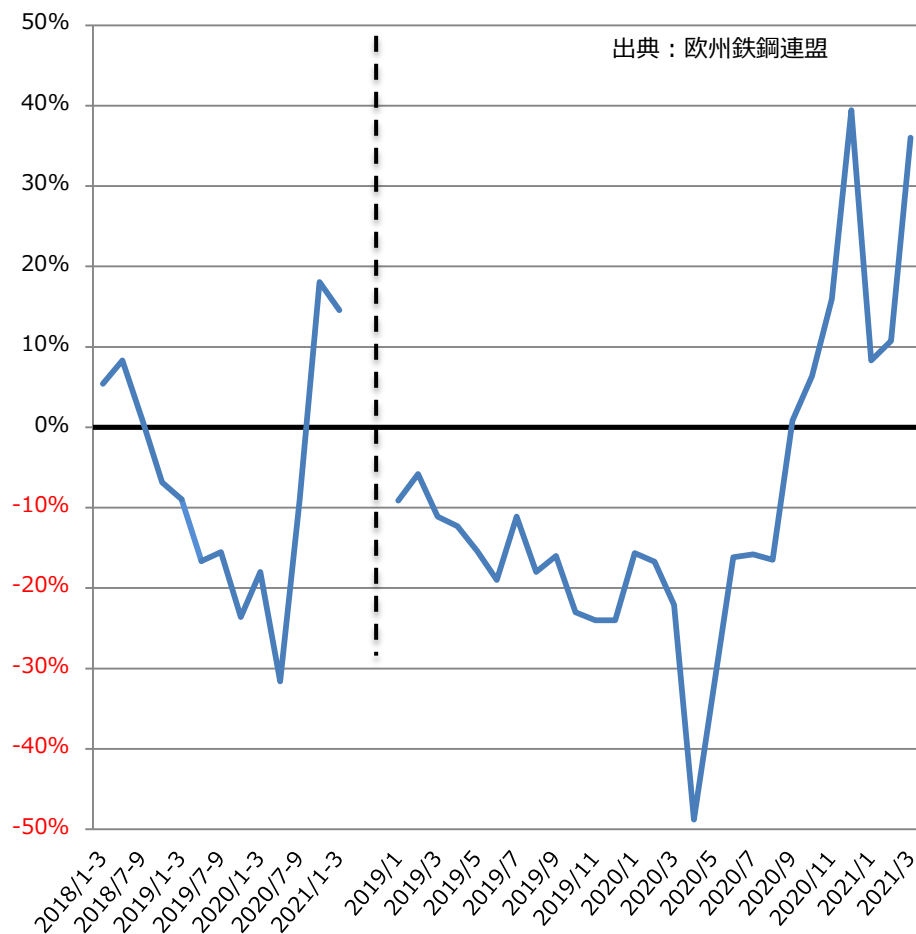


日本特殊鋼受注数量（軸受鋼）（前年同月比増減率）



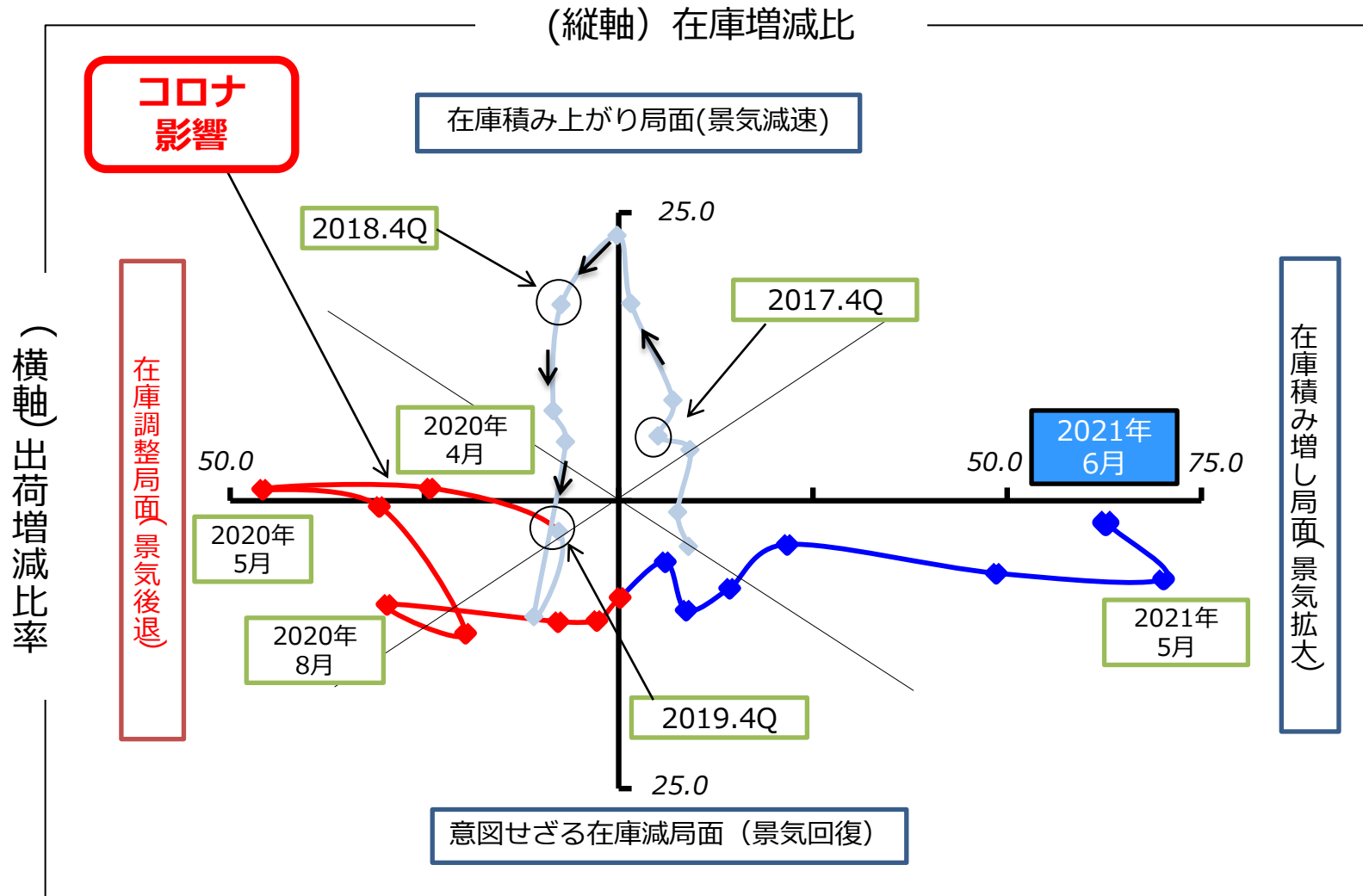
軸受鋼は、2020/5を底に新型コロナウイルス影響から回復し、2021/5は前年同月比+185%。

欧州デリバリー数量 棒鋼 & 平鋼/構造用合金鋼（前年同期比増減率）



2018年10月以降、前年同期比でマイナス推移。2020年4月に底打ちし、以降回復傾向。2021年3月は前年同期比で+36%。

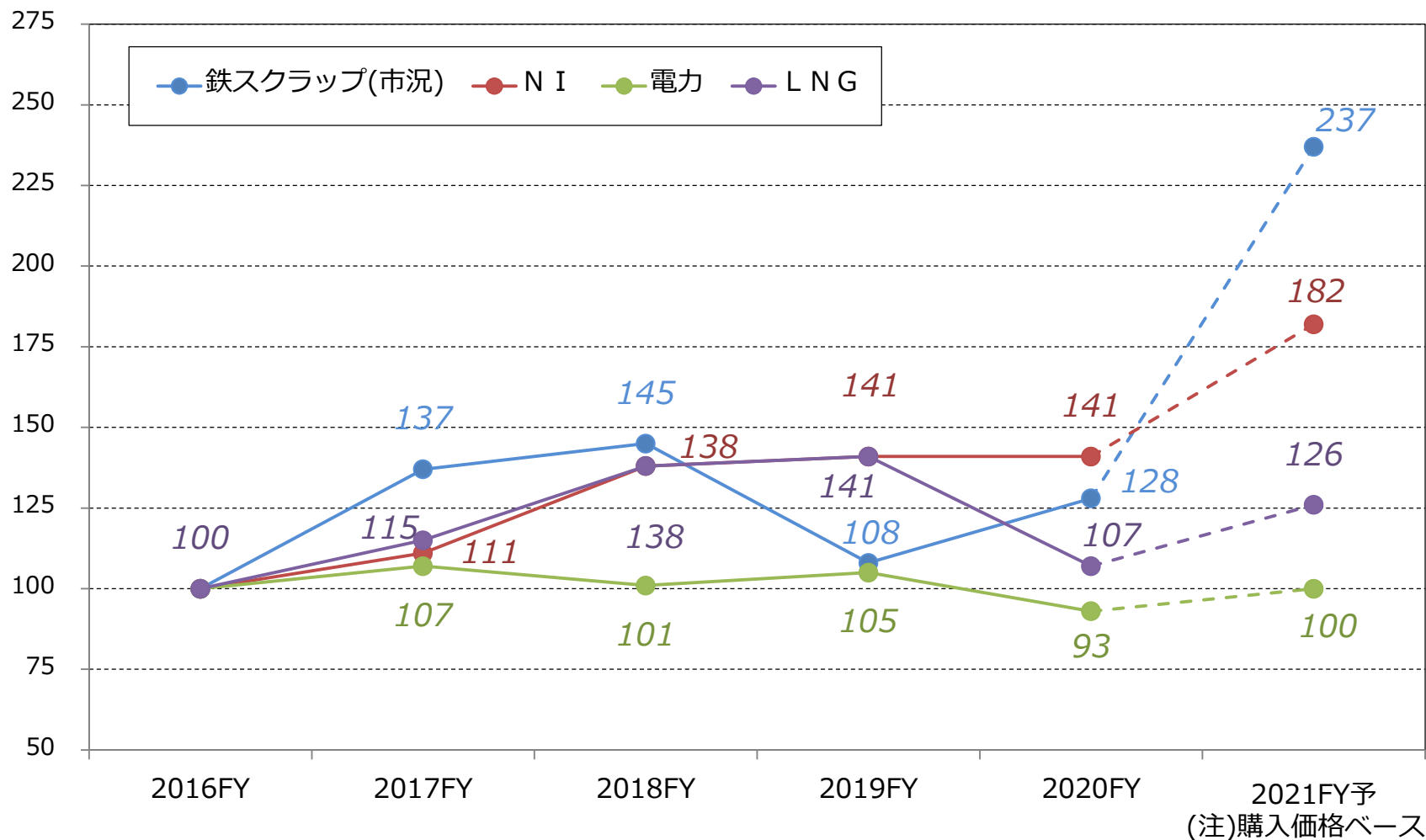
軸受在庫循環図



出典：経済産業省機械統計
(2021年6月は速報値)

原燃料価格の推移

(2016FY を100とした指数表示)



損益の詳細 (対2020FY1Q)

(単位：千t、億円、円/株、%)

	2021FY1Q (A)	2020FY1Q(B)	増減(A)-(B)	増減率 (%)
売上数量	672	335	+337	+100.6
内、当社単独	267	137	+130	+94.7
内、Ovako(注1)	370	173	+197	+114.1
内、MSSS(注2)	35	25	+10	+39.6
売上高	1,106	530	+576	+108.5
内、当社単独	401	223	+179	+80.1
内、Ovako	648	260	+388	+149.4
内、MSSS	44	29	+15	+53.7
営業利益	85	▲12	+96	-
内、当社単独	33	▲11	+44	-
内、Ovako	63	11	+52	+458.2
内、MSSS	2	▲2	+4	-
内、のれん償却費(注1)	▲13	▲6	-7	-
経常利益	85	▲18	+102	-
内、当社単独	36	▲8	+44	-
内、Ovako	61	5	+56	+1,113.5
内、MSSS	1	▲3	+4	-
内、のれん償却費	▲13	▲6	-7	-
税後利益(注3)	61	▲15	+75	-
1株当たり税後利益	111.6	▲26.9	+138.5	-
のれん償却費を除く営業利益	98	▲5	+104	-
のれん償却費を除く経常利益	98	▲11	+110	-
のれん償却費を除く税後利益	74	▲8	+83	-
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	136.3	▲15.5	+151.8	-

(注1) Ovakoおよびのれん償却費:2021FY1Qは、1月～6月の6カ月の数値、2020FY1Qは、1月～3月の3カ月の数値

(注2) MSSS：1～3月の3カ月の数値 (注3) 親会社株主に帰属する四半期純利益

損益の詳細 (業績予想 2021/7/30公表) 対前回予想 (単位: 千t、億円、円/株、%)

	21FY上期 予想 (A)	21FY下期 予想 (B)	2021FY予想 (C) = (A)+(B)	2021FY 前回予想(D)	増減(C)-(D)	増減率 (%)
売上数量	1,087	926	2,013	1,938	+75	+3.9
内、当社単独	522	510	1,032	953	+79	+8.3
内、Ovako(注1)	508	340	848	836	+12	+1.4
内、MSSS(注2)	57	76	132	149	-17	-11.4
売上高	1,820	1,630	3,450	3,150	+300	+9.5
内、当社単独	805	863	1,668	1,524	+144	+9.4
内、Ovako	891	597	1,488	1,350	+138	+10.2
内、MSSS	77	105	182	193	-11	-5.7
営業利益	87	22	109	73	+36	+49.3
内、当社単独	41	12	53	58	-5	-8.6
内、Ovako	60	20	80	42	+38	+90.5
内、MSSS	3	3	6	5	+1	+20.0
内、のれん償却費(注1)	▲20	▲13	▲33	▲31	-2	-
経常利益	85	20	105	70	+35	+50.0
内、当社単独	44	13	57	62	-5	-8.1
内、Ovako	56	18	74	38	+36	+94.7
内、MSSS	2	1	3	0	+3	-
内、のれん償却費	▲20	▲13	▲33	▲31	-2	-
税後利益(注3)	61	10	71	35	+36	+102.9
1株当たり税後利益	112.0		130.3	64.2	+66.1	+102.9
のれん償却費を除く営業利益	107	35	142	104	+38	+36.5
のれん償却費を除く経常利益	105	33	138	101	+37	+36.6
のれん償却費を除く税後利益	81	23	104	66	+38	+57.6
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	148.7		190.9	121.1	+69.7	+57.6

(注1) Ovakoおよびのれん償却費:

2021FY予想は2021年1月~2022年3月の15カ月の数値(2021FY上期予想は1月~9月の9ヵ月、2021FY下期予想は10月~2022年3月の6カ月の数値)

(注2) MSSS: 1月~12月の数値

(注3) 親会社株主に帰属する当期純利益

損益の詳細 (業績予想 2021/7/30公表) 対前年度

(単位: 千t、億円、円/株、%)

	21FY上期 予想 (A)	21FY下期 予想 (B)	2021FY予想 (C) = (A)+(B)	2020FY(D)	増減(C)-(D)	増減率 (%)
売上数量	1,087	926	2,013	1,367	+646	+47.3
内、当社単独	522	510	1,032	704	+328	+46.5
内、Ovako(注1)	508	340	848	572	+276	+48.3
内、MSSS(注2)	57	76	132	91	+41	+45.7
売上高	1,820	1,630	3,450	2,107	+1,343	+63.7
内、当社単独	805	863	1,668	1,036	+632	+60.9
内、Ovako	891	597	1,488	897	+591	+66.0
内、MSSS	77	105	182	103	+79	+77.2
営業利益	87	22	109	▲55	+164	-
内、当社単独	41	12	53	17	+36	+209.8
内、Ovako	60	20	80	▲25	+105	-
内、MSSS	3	3	6	▲10	+16	-
内、のれん償却費(注1)	▲20	▲13	▲33	▲26	-7	-
経常利益	85	20	105	▲48	+153	-
内、当社単独	44	13	57	22	+35	+158.3
内、Ovako	56	18	74	▲24	+98	-
内、MSSS	2	1	3	▲13	+16	-
内、のれん償却費	▲20	▲13	▲33	▲26	-7	-
税後利益(注3)	61	10	71	▲69	+140	-
1株当たり税後利益	112.0		130.3	▲126.1	+256.4	-
のれん償却費を除く営業利益	107	35	142	▲29	+171	-
のれん償却費を除く経常利益	105	33	138	▲21	+159	-
のれん償却費を除く税後利益	81	23	104	▲42	+146	-
のれん償却費を除く1株当たり税後利益	148.7		190.9	▲78.0	+268.8	-

(注1) Ovakoおよびのれん償却費:

2021FY予想は2021年1月~2022年3月の15カ月の数値(2021FY上期予想は1月~9月の9ヵ月、2021FY下期予想は10月~2022年3月の6カ月の数値)

2020FYは2020年1月~12月の12カ月の数値

(注2) MSSS: 1月~12月の数値

(注3) 親会社株主に帰属する当期純利益

未来への信頼を担う

当社の掲げる「信頼の経営」は地球環境の未来を担う。その思いを大切に、山陽特殊製鋼はこれからも躍進を続けます。



SANYO SPECIAL STEEL - the Confident Choice

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)